

株式会社 GAテクノロジーズ

FY2020.10 2Q

決算説明資料

2020.2.1 - 2020.4.30

2020年 6月 11日

証券コード：3491



GA TECHNOLOGIES

PHILOSOPHY

テクノロジー×イノベーションで、
人々に感動を。

VISION

世界のトップ企業を創る。



“住まい”に縛られない「本当の理想の暮らし」を実現



借りる

住む

投資する

初めて理想の暮らしを考える

「今、したい生活」を実現する

未来の理想の暮らしを創る

RENOSY

ITANDI事業

Living事業
(Rent-Lease-Sell-Buy)

iBuyer事業

賃貸BtoB / BtoC事業

不動産仲介事業

買取再販事業

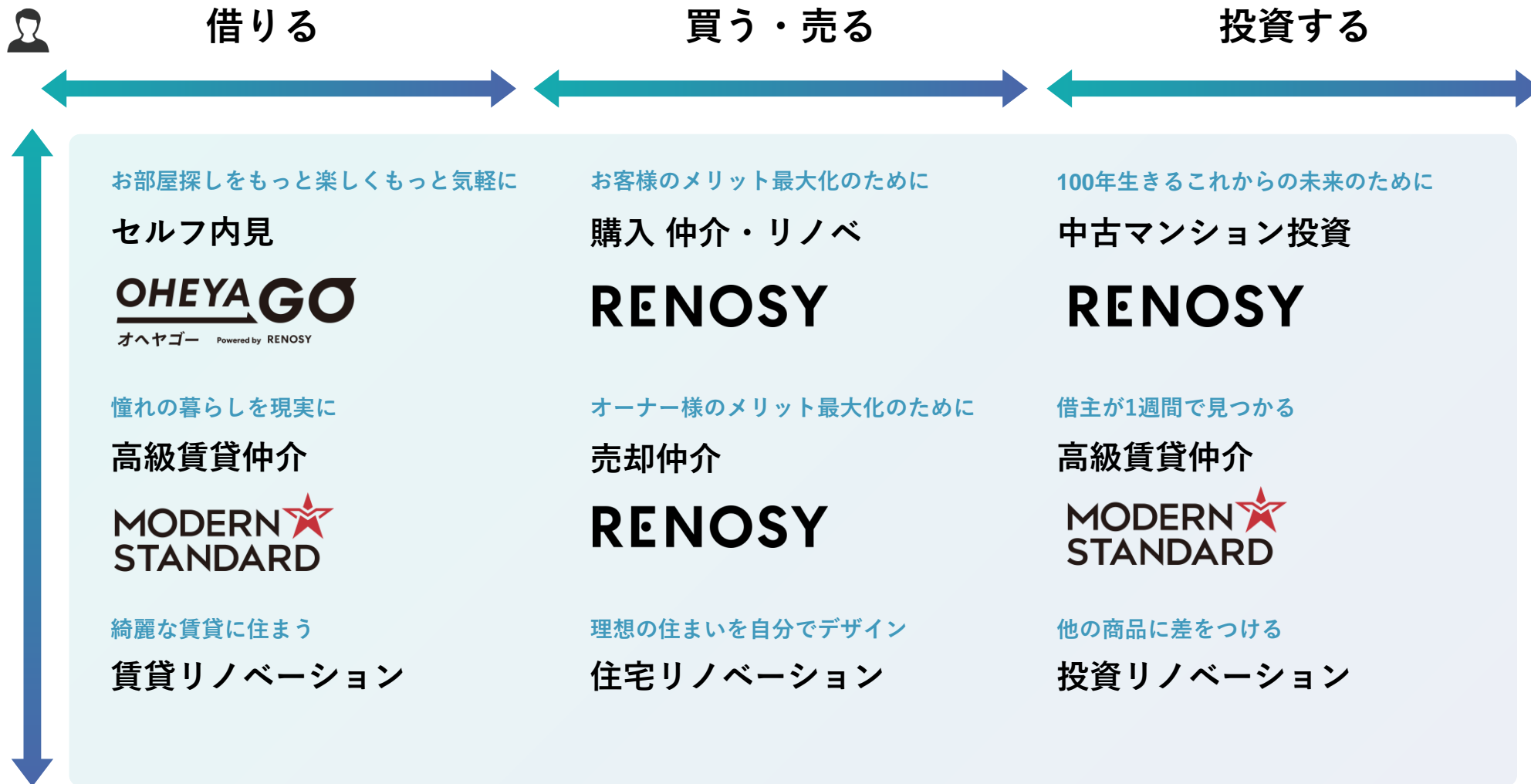


RENOSY ASSET MANAGEMENT



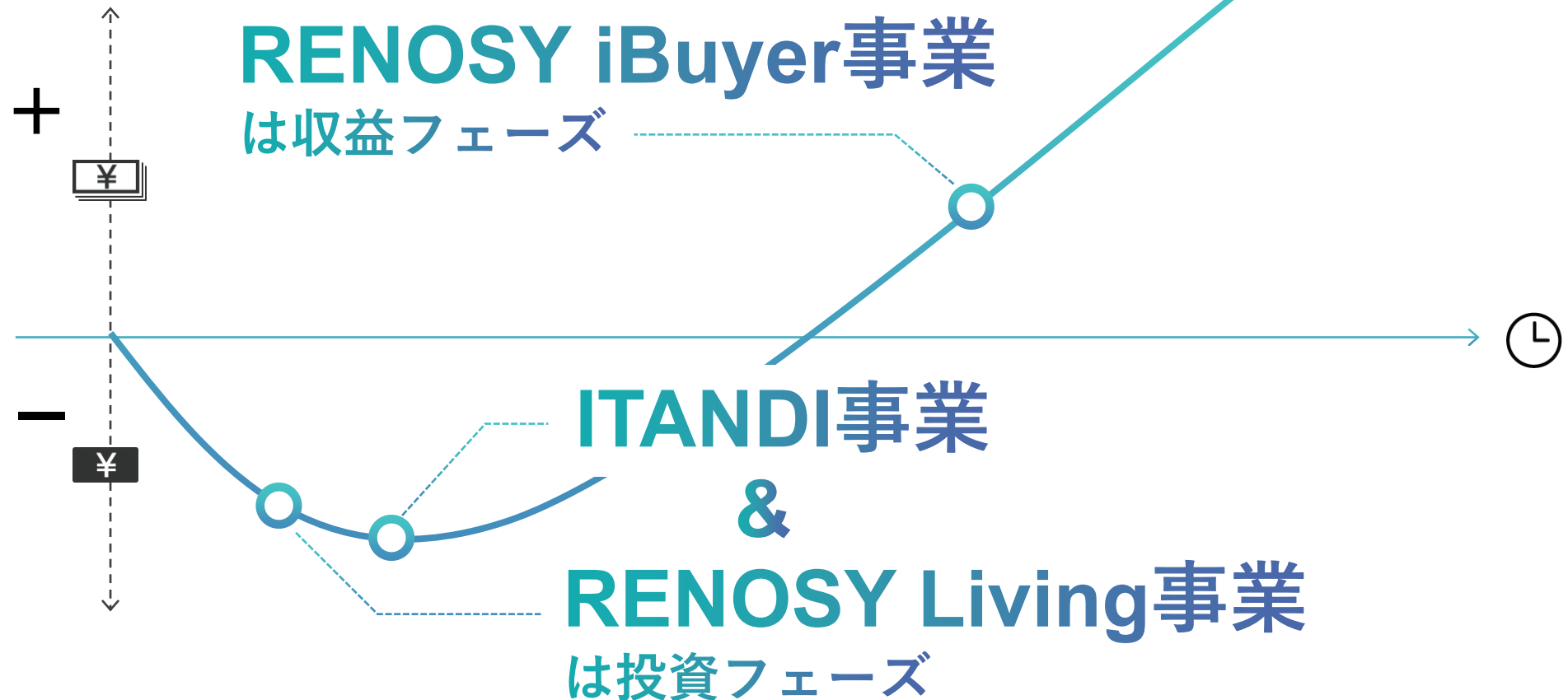


“住まい”に縛られない「本当の理想の暮らし」を実現



経営の重点項目

RENOSY iBuyer事業はプロダクトマーケットフィットにより収益化実現
イタンジ、RENOSY Living事業は事業拡大、収益確立のための投資フェーズ

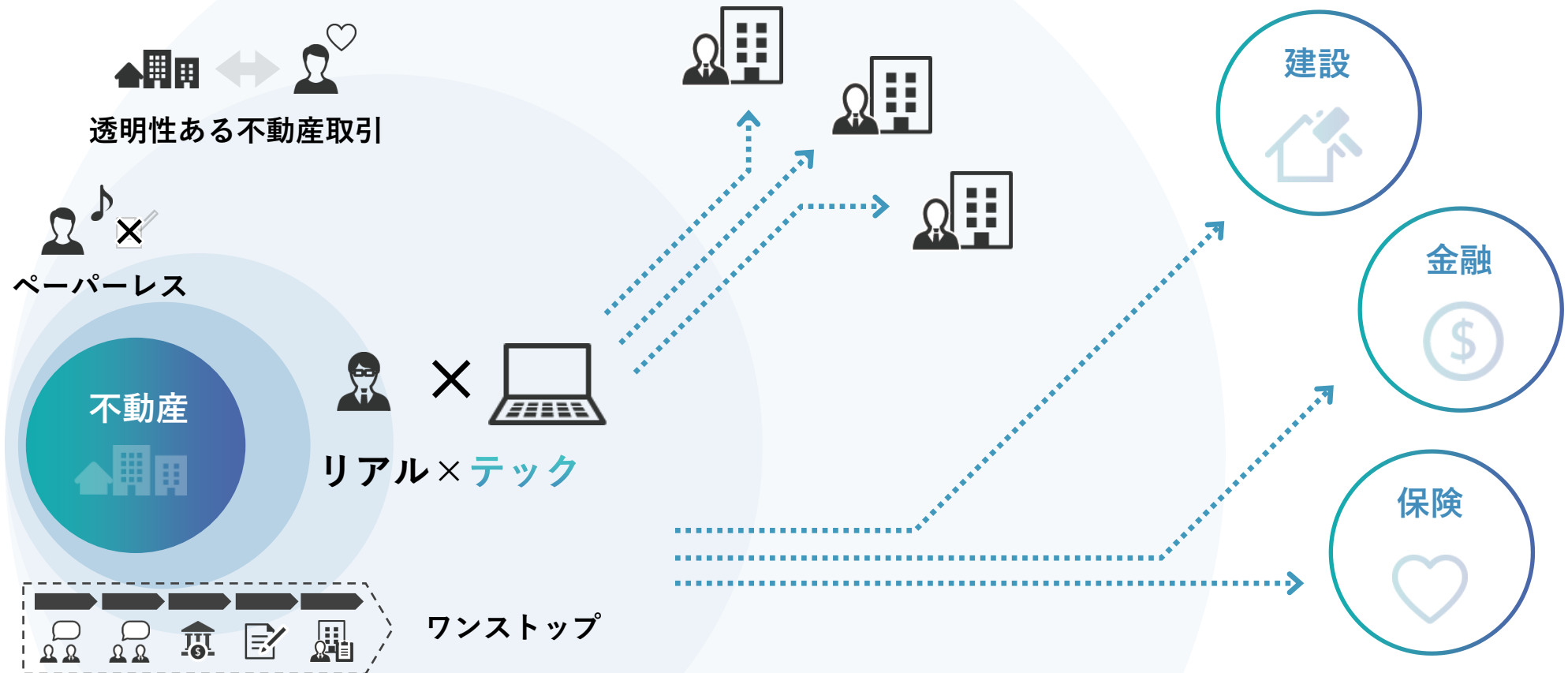


GAテクノロジーズの戦略

1 RENOSY事業強化

2 自社プロダクト外販

3 隣接領域への事業拡大



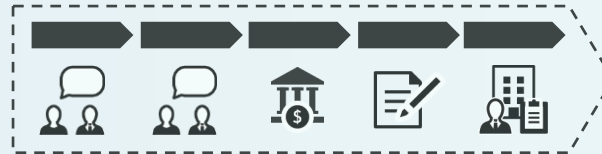
GAテクノロジーズの戦術

1 RENOSY事業強化 iBuyer事業にてOMO^{注1}体制を確立

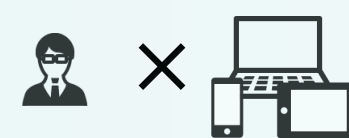
リアルの事業体制構築
(徹底したKPI管理、分業体制の確立)



サービスカバレッジ拡大
(顧客目線で必要なサービス提供)



DX^{注2}による事業スケール
(顧客価値向上、業務効率化)



MODERN
STANDARD



Living 事業への展開 (RENOSYモデルの再現)

注1) 「Online Merges with Offline」の略称、オンラインとオフラインを併合するマーケティングの概念 注2) 「Digital Transformation」の略称。企業活動のデジタル化による変革のこと。

GAテクノロジーズの戦術

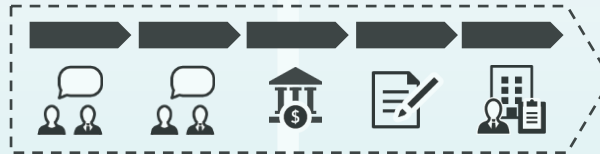
2 自社プロダクト外販

各事業で得られたノウハウ、体制、テクノロジーを業界展開

iBuyer事業



Living事業



RENOSY X

RENOSYモデルの業界展開 (業界全体のDXへ貢献)

コロナによる影響と対策

GAグループのコロナ対策について

GAグループに関わる全てのステークホルダーに対し、対策を実施

GA TECHNOLOGIES GROUP



社内

Wi-Fiの貸出
テレワーク

Business

不動産取引オンライン化
非対面不動産売買契約
セルフ内見型賃貸サイト

イタンジ4システム無償提供
テレワーク推進ウェビナー
電話FAXくん提供開始

Recruit

採用面談オンライン化
自社採用イベントオンライン化

コロナが業界にもたらす変化と短期的な影響

短期的なコロナの影響

iBuyer 事業

↓ 金融機関の稼働減
販売活動の停滞

Living 事業

↓ 管理会社の営業停滞
仲介可能物件減

ITANDI 事業

↓ 仲介業界の冷込み
電子申込利用減

主に注力した事業活動により、大きな影響は回避、さらにDX推進

非対面販売体制の確立



自社メディアの強化



業界全体のDXシフト



長期的な業界変化を見据えたDX推進に注力

長期的な業界変化



短期的なコロナの影響

iBuyer 事業

✦ 投資不動産需要増

↓ 金融機関の稼働減

Living 事業

✦ 引っ越しニーズ増

↓ 管理会社の営業停滞

ITANDI 事業

✦ 賃貸業界のDX需要増

↓ 仲介業界の冷込み

FY2020.10 2Q 業績 (連結)



GA TECHNOLOGIES

FY2020.10 2Q 業績ハイライト（連結）

GAテクノロジーズグループ

売上高

14,742 百万円

YoY **+ 56 %**

売上総利益

2,486 百万円

YoY **+ 46 %**

営業利益

471 百万円

YoY **+ 84 %**

新型コロナウイルス感染症による業績への影響は、2Qにおいては軽微であり、
売上利益ともYoYで好調に伸長
非対面販売体制を早期に確立し、従来より進めていたDX推進が加速

RENOSY事業(iBuyer/Living)、ITANDI事業の3事業を確立していくと共に、
ビジネスを成長させる為、人材採用等の積極的な投資を継続

不動産業界全体のDXおよび既存事業強化の一環としてM&Aを実施し、さらなる成長へ

FY2020.10 2Q 業績サマリー

RENOSY iBuyer

コロナ禍においても在庫回転期間は好水準を継続、不況下でも経営への影響は軽微
セールスストック活用による業務効率化、生産性向上により成約数やARPAは過去最高

RENOSY Living

iBuyer事業にて確立したOMO体制をLiving事業に展開
モダンスタンダードとのM&Aによるシナジーにより反響数および営業人員が大幅増加

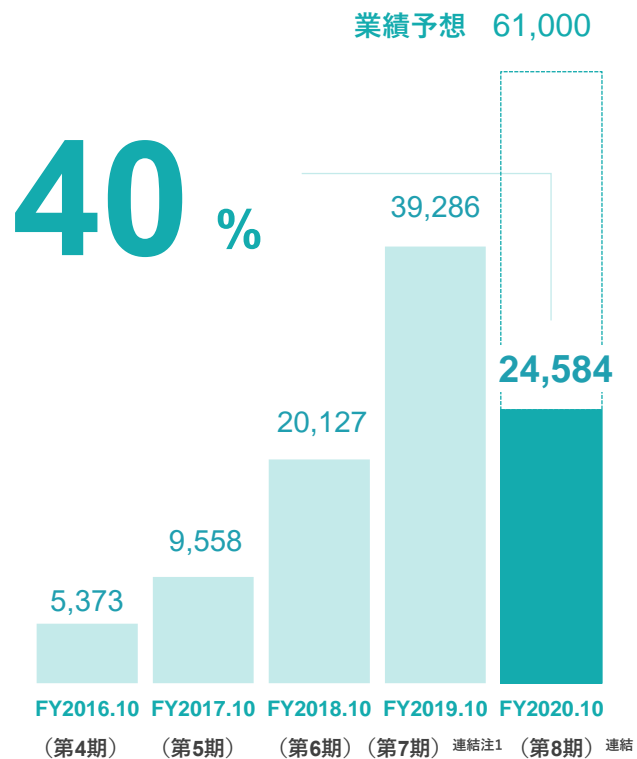
ITANDI

管理会社向け、仲介会社向けのSaaS事業は順調に推移
管理会社向けSaaSの利用拠点増加に伴い、OHEYAGOの掲載物件数も順調に拡大
次世代型業者間サイトITANDI BBで、不動産賃貸業務をワンストップ&オンライン化

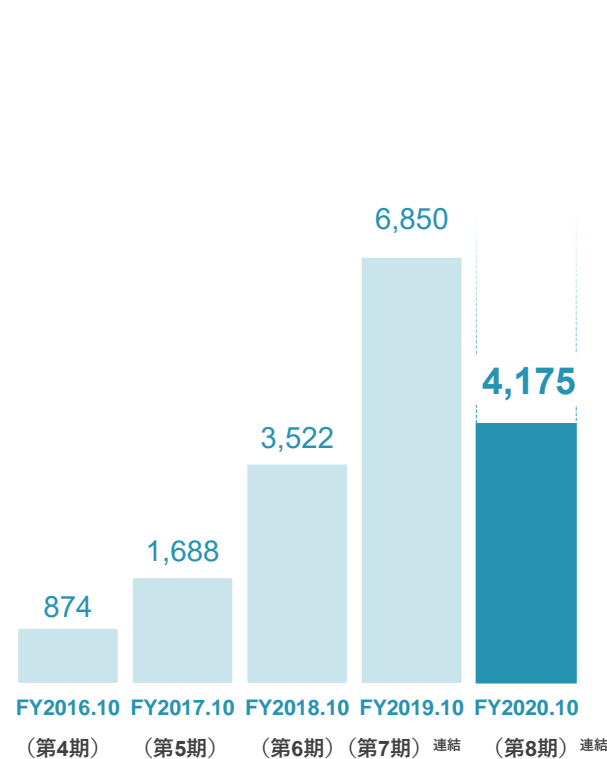
FY2020.10 2Q 通期推移 および 進捗率

各事業の業績拡大により、通期見込みに対しての売上高進捗率は40%と順調に推移
営業利益は成長への先行投資により23%の進捗率も、計画通り下期に利益計上予定

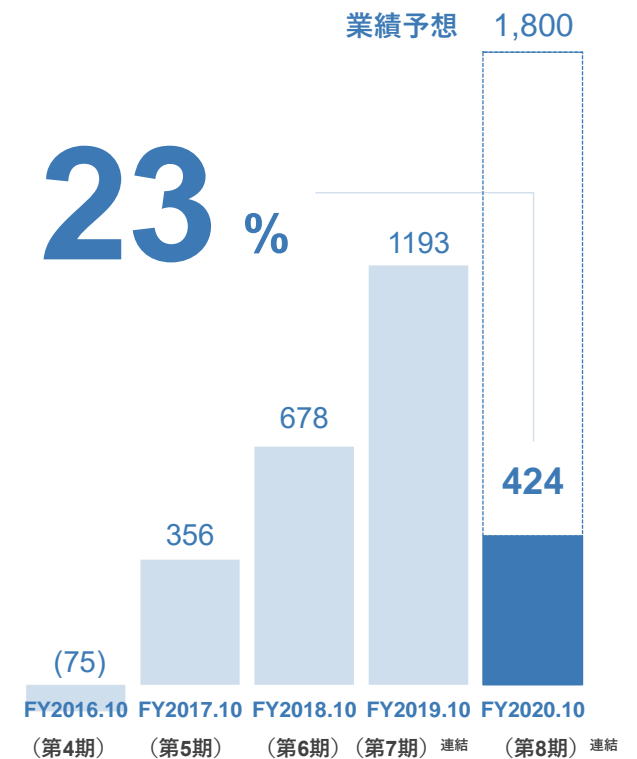
FY2020.10 2Q (百万円)
売上高進捗率



FY2020.10 2Q (百万円)
売上総利益



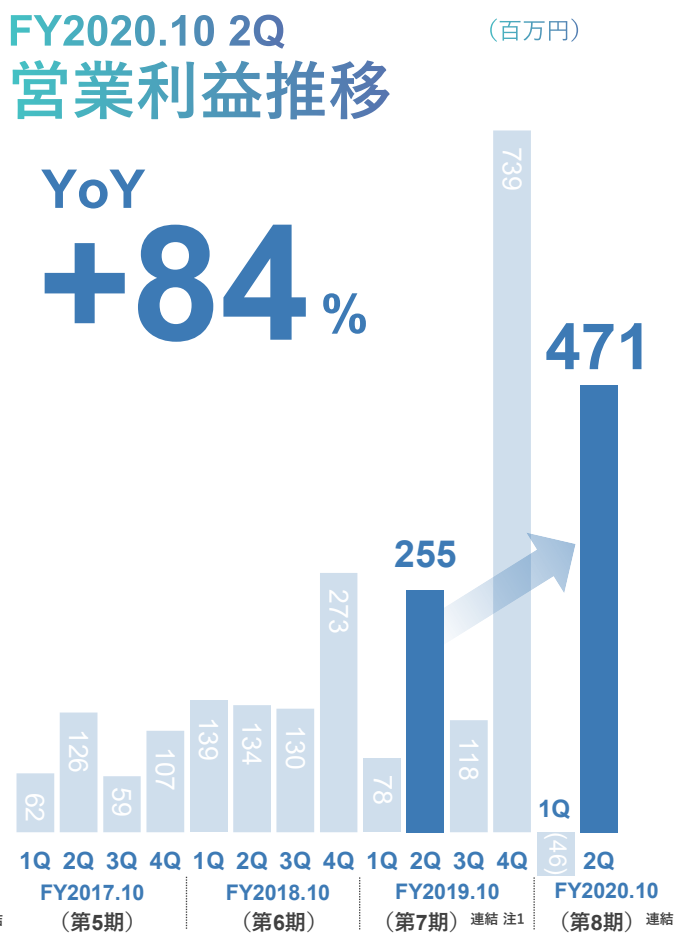
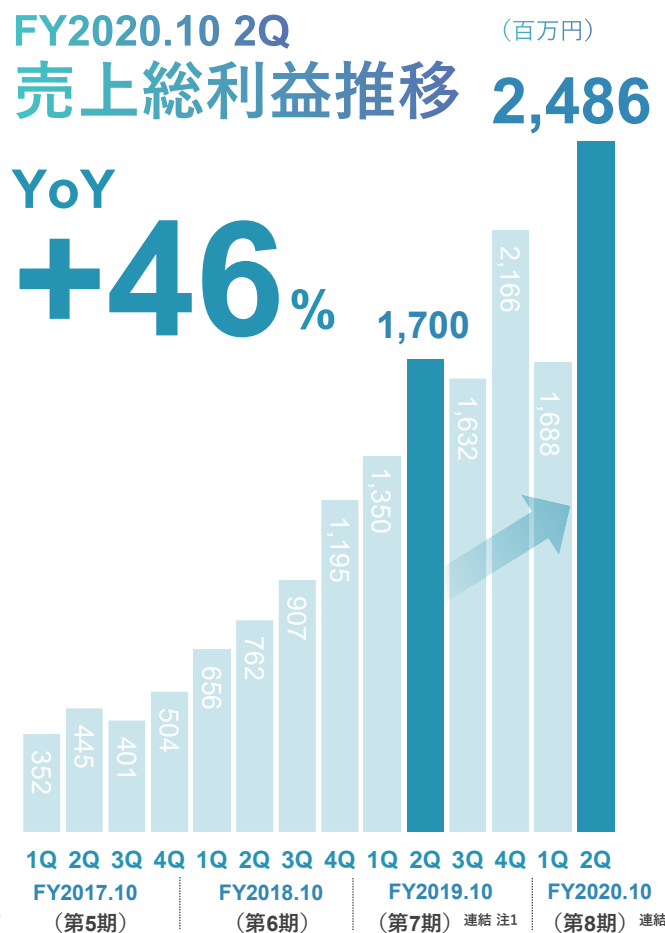
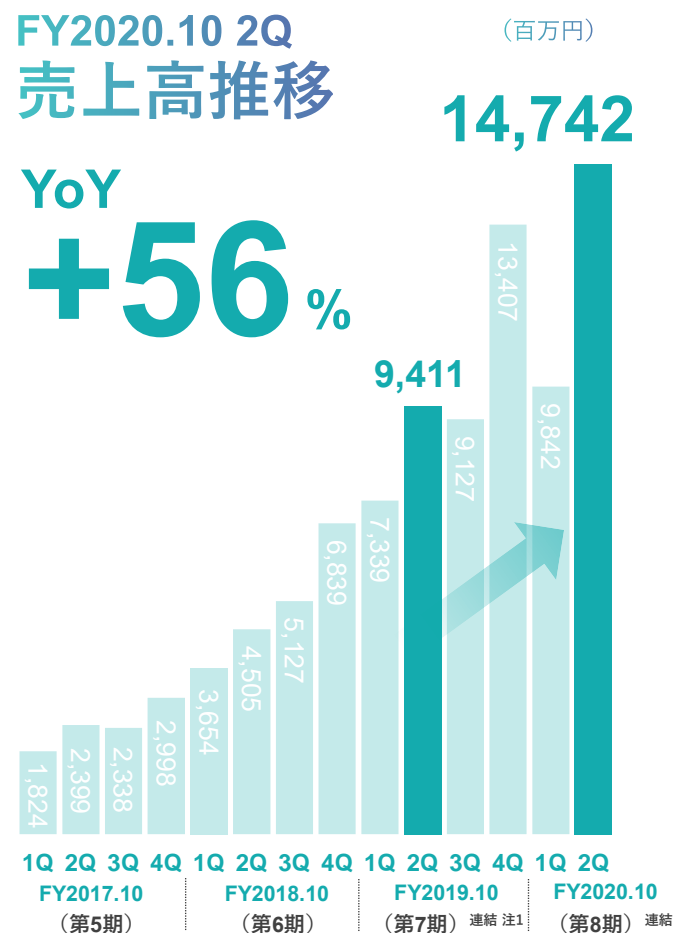
FY2020.10 2Q (百万円)
営業利益進捗率



注1) FY2019.10 (第7期) 以降は、連結財務諸表にて作成。

FY2020.10 2Q 四半期推移

順調な業績拡大により、YoYで増収増益。売上、粗利は四半期過去最高を記録

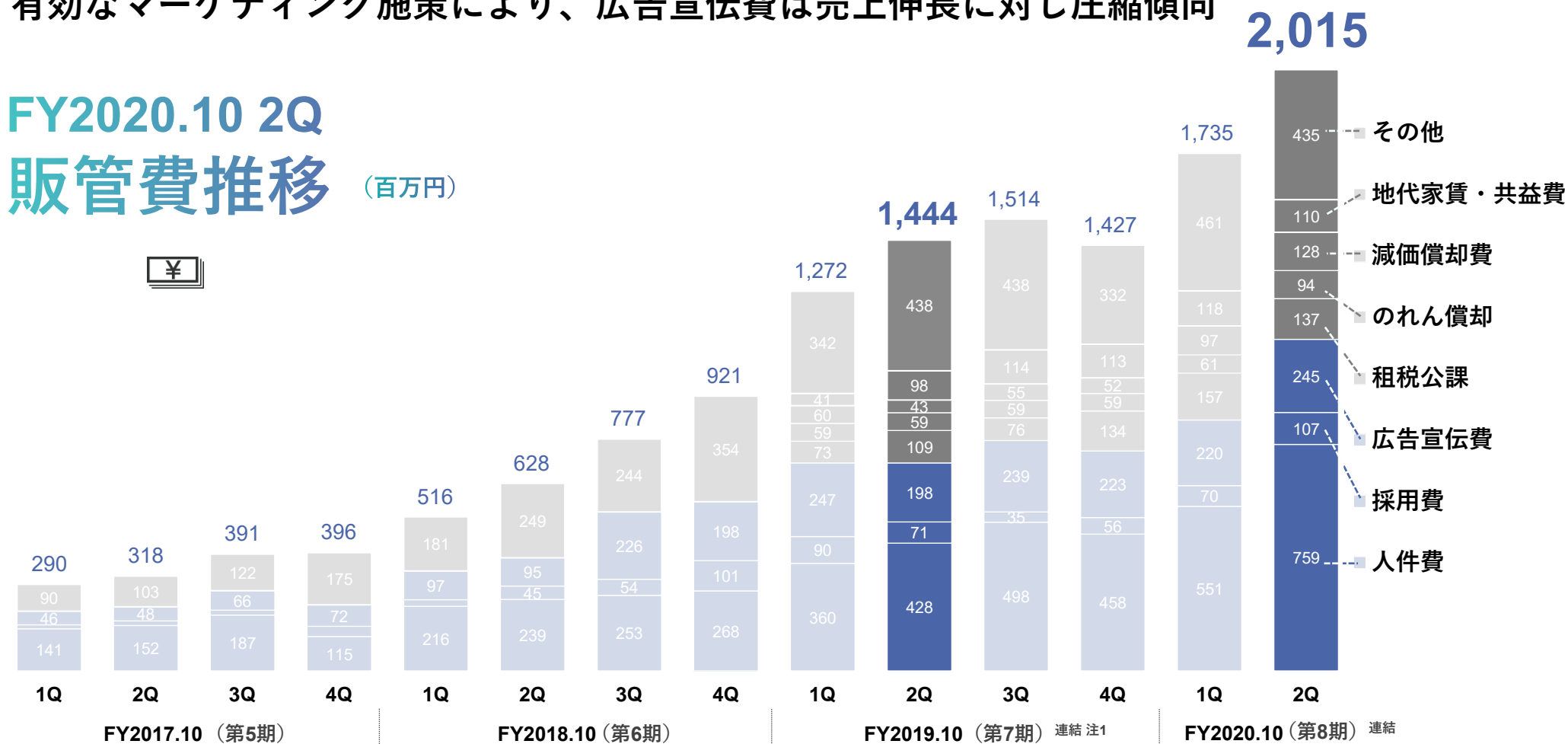


注1) FY2019.10 (第7期) 以降は、連結財務諸表にて作成。

FY2020.10 2Q 販管費推移

QoQで従業員数97人増など、好調な採用活動により人件費増
 有効なマーケティング施策により、広告宣伝費は売上伸長に対し圧縮傾向

FY2020.10 2Q 販管費推移 (百万円)

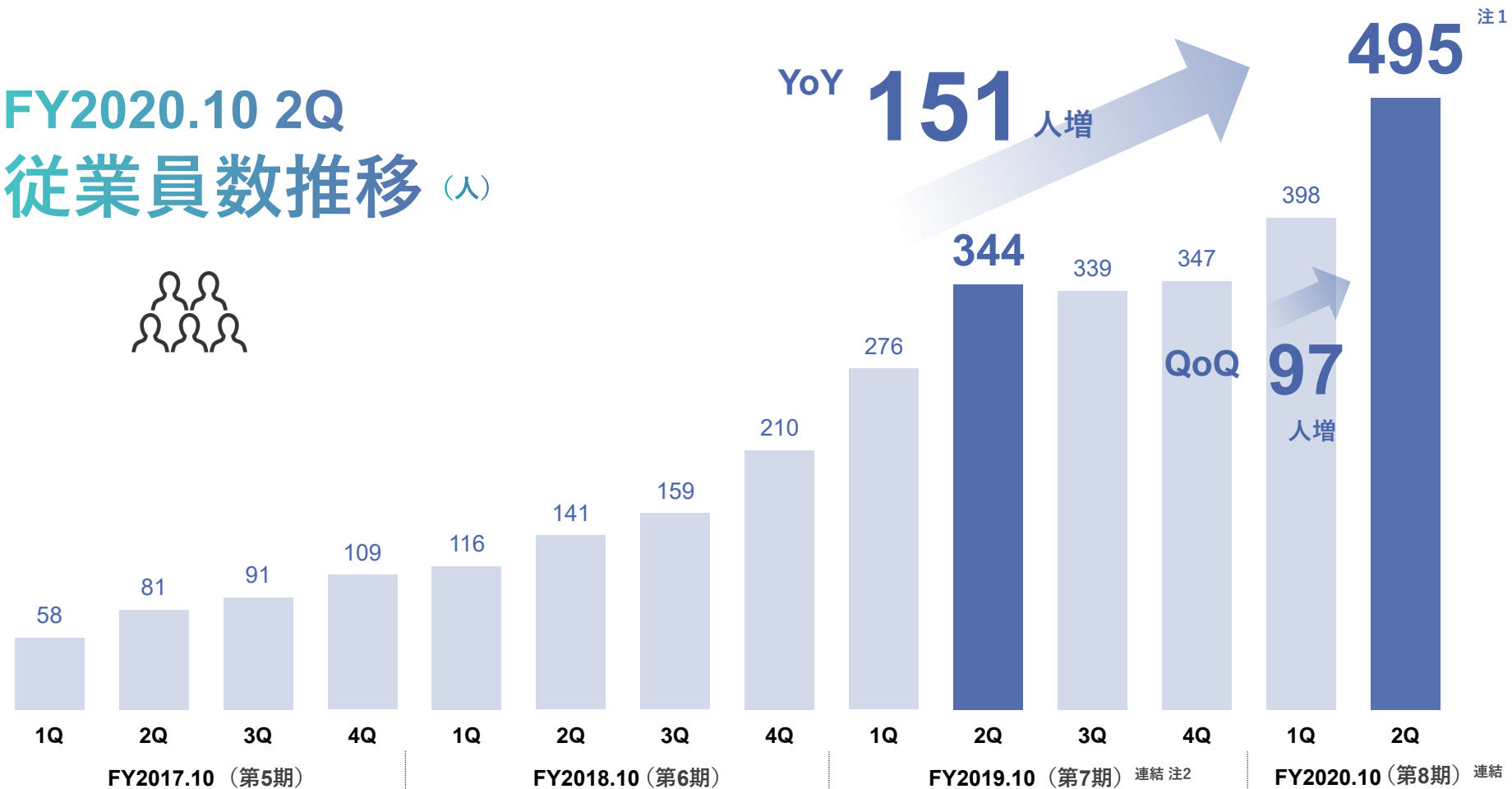


注1) FY2019.10 (第7期) 以降は、連結財務諸表にて作成。

FY2020.10 2Q 従業員数推移

積極的人材投資により、YoYで151人、QoQで97人増

FY2020.10 2Q 従業員数推移 (人)



注1) 2020.4.30時点 連結/役員・契約社員・アルバイト・インターン除く 注2) FY2019.10 (第7期) 以降は、連結財務諸表にて作成。

損益計算書サマリー（連結）

売上および利益ともにYoY比で増収増益と好調に推移

	YoYでの比較				業績予想における進捗		
	FY2020.10 2Q ①	FY2019.10 2Q ②	増減額 (①-②)	増減率 (①/②)	FY2020.10 業績予想③	FY2020.10 累計 ④	進捗率 (④/③)
売上高	14,742	9,411	5,330	+56%	61,000	24,584	40%
売上総利益	2,486	1,700	786	+46%	---	4,175	---
営業利益	471	255	215	+84%	1,800	424	23%
経常利益	393	211	182	+86%	1,530	323	21%
親会社株主に帰属する 当期純利益	199	171	27	+16%	770	115	14%

貸借対照表サマリー（連結）

資産：約150億円規模へ増加。主に在庫及びのれん（モダンスタンダード社M&A）の増加

負債：借入金及び社債の増加により有利子負債が2,984百万円増加

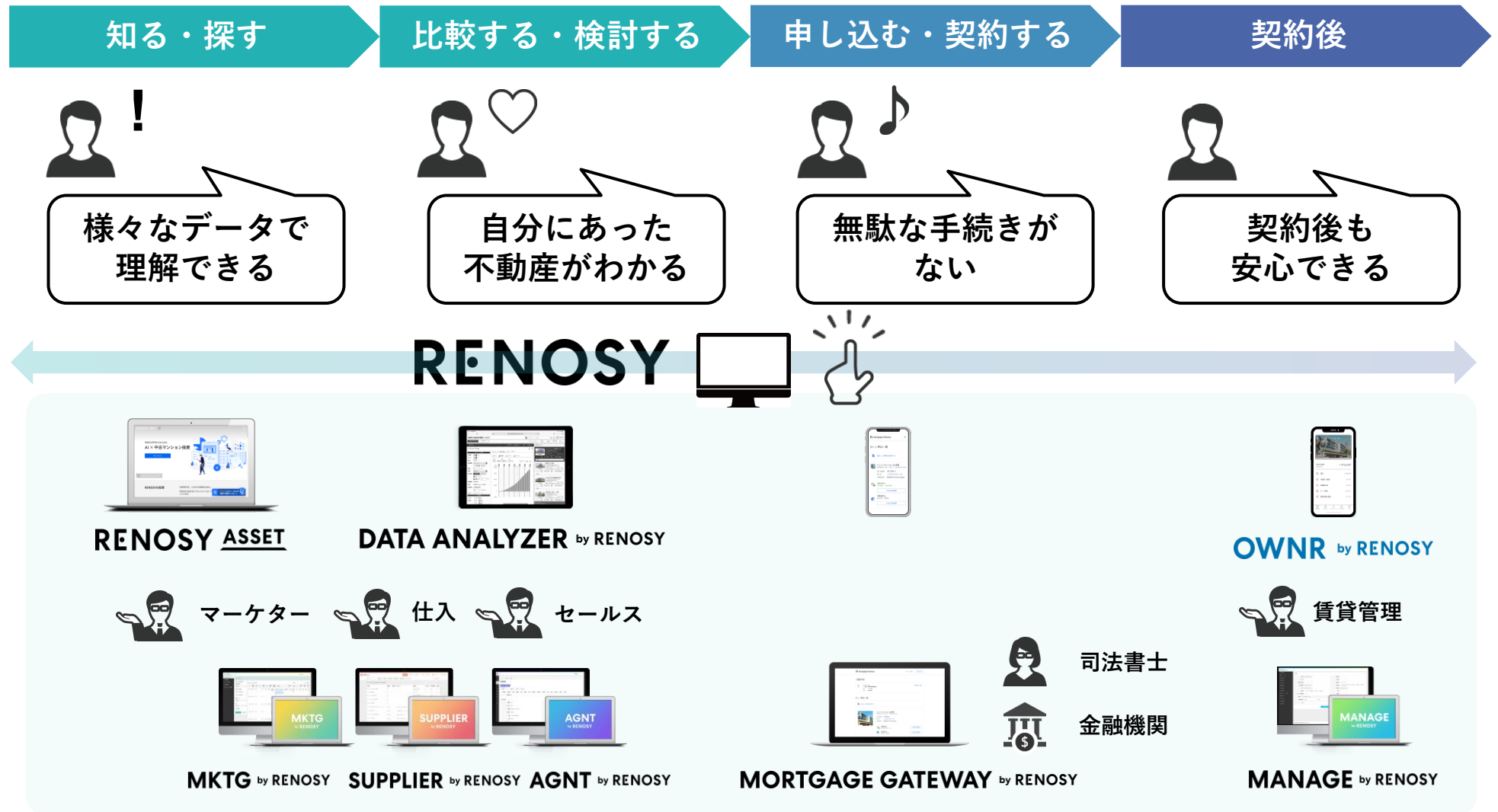
純資産：親会社株主に帰属する四半期純利益及びモダンスタンダード社M&A時の株式交換により増加

(百万円)

	FY2020.10 2Q ①	FY2019.10 4Q ②	増減額 (③=①-②)	増減率 (③/②)
資産合計	15,396	11,839	3,556	+30%
流動資産 (現金及び現金同等物) (在庫)	6,826 (3,842) (2,313)	5,512 (4,279) (682)	1,314 (-436) (1,630)	+23% (-10%) (+238%)
固定資産 (ソフトウェア(仮勘定含む)) (のれん) (顧客関連資産)	8,569 (2,300) (2,897) (909)	6,327 (1,890) (1,707) (724)	2,242 (410) (1,190) (184)	+35% (+21%) (+69%) (+25%)
負債 (有利子負債)	9,067 (6,445)	6,082 (3,461)	2,984 (2,984)	+49% (+86%)
純資産 (株式交換) (MSワラント)	6,329 (439) (---)	5,757 (699) (2,092)	572 (---) (---)	+9% (---%) (---%)
負債・純資産合計	15,396	11,839	3,556	+30%

RENOSY iBuyer 事業

“不動産取引をワンクリックで”を目指す RENOSY iBuyer

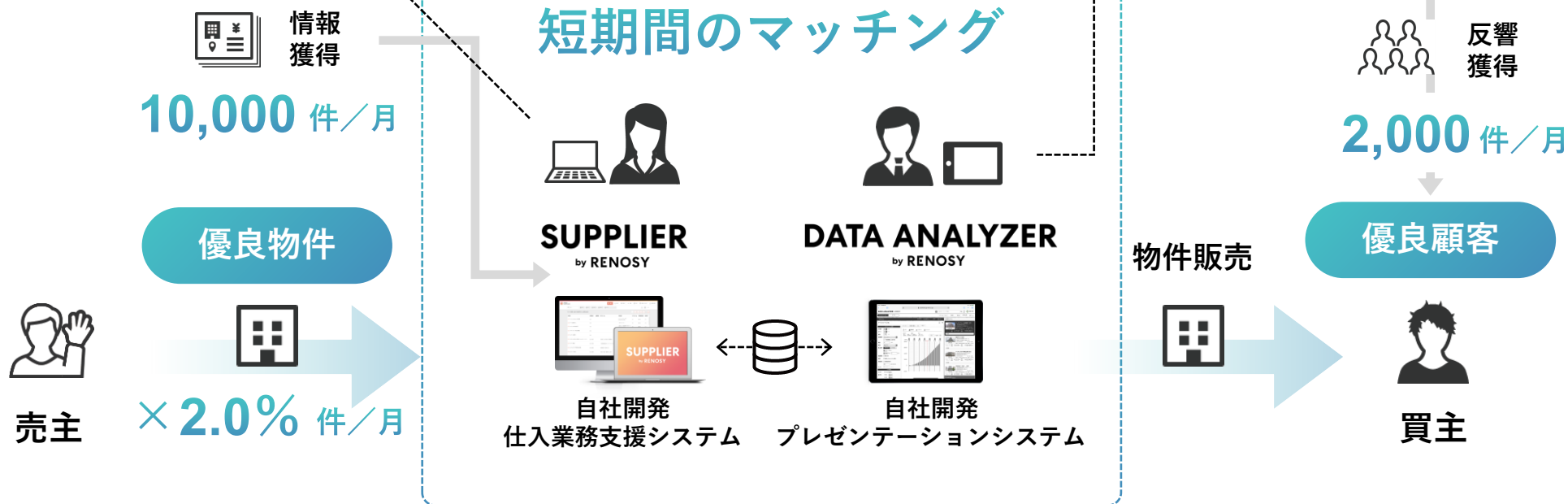


ビジネスモデル

不動産の業務プロセスを革新、省力化と高生産性を実現
テクノロジーを活用したデットを抱えないビジネスモデル

購入しやすい価格帯
空室リスクの低い物件
の仕入れ

効率良い集客
投資しやすい物件
の提案



商品特徴

不況下においても空室や家賃下落のリスクが低く、
投資商品として比較的小口で購入可能な主要都市の区分マンション



中古（目安：築10年～）

区分マンション（目安：～50m²）

主要都市（首都圏、大阪、名古屋、福岡）

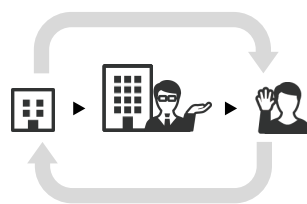
新耐震基準（築年数 1981年～）

同業他社に比べ圧倒的な在庫回転期間^{注1}

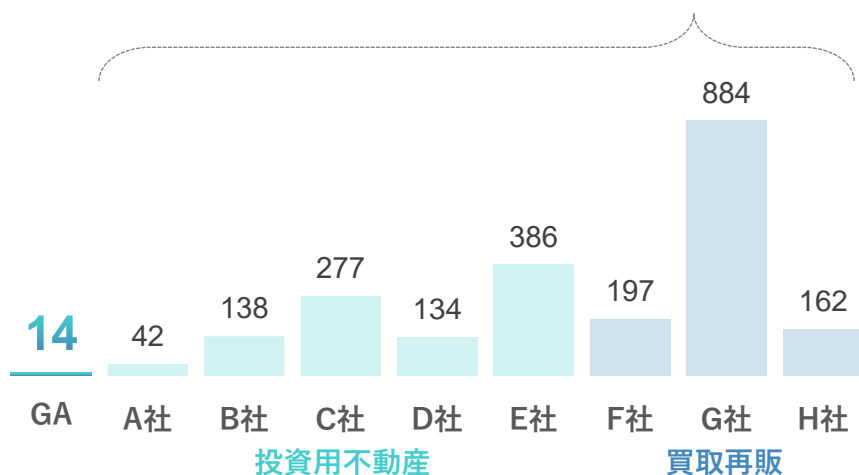
テクノロジーによる効率的なマッチングにより、仕入から販売までの期間短縮を実現
 デットを抱えないため、不況下でも事業への影響は軽微

在庫回転期間

約 **14** 日/回

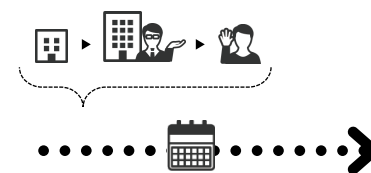


GA以外の不動産業8社平均 約 **277.5** 日/回

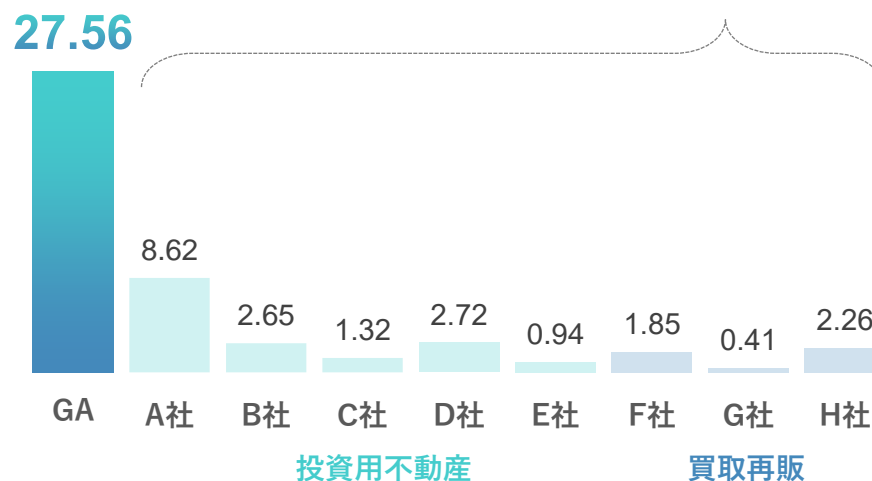


在庫回転率^{注2}

約 **27.6** 回/年



GA以外の不動産業8社平均 約 **2.6** 回/年



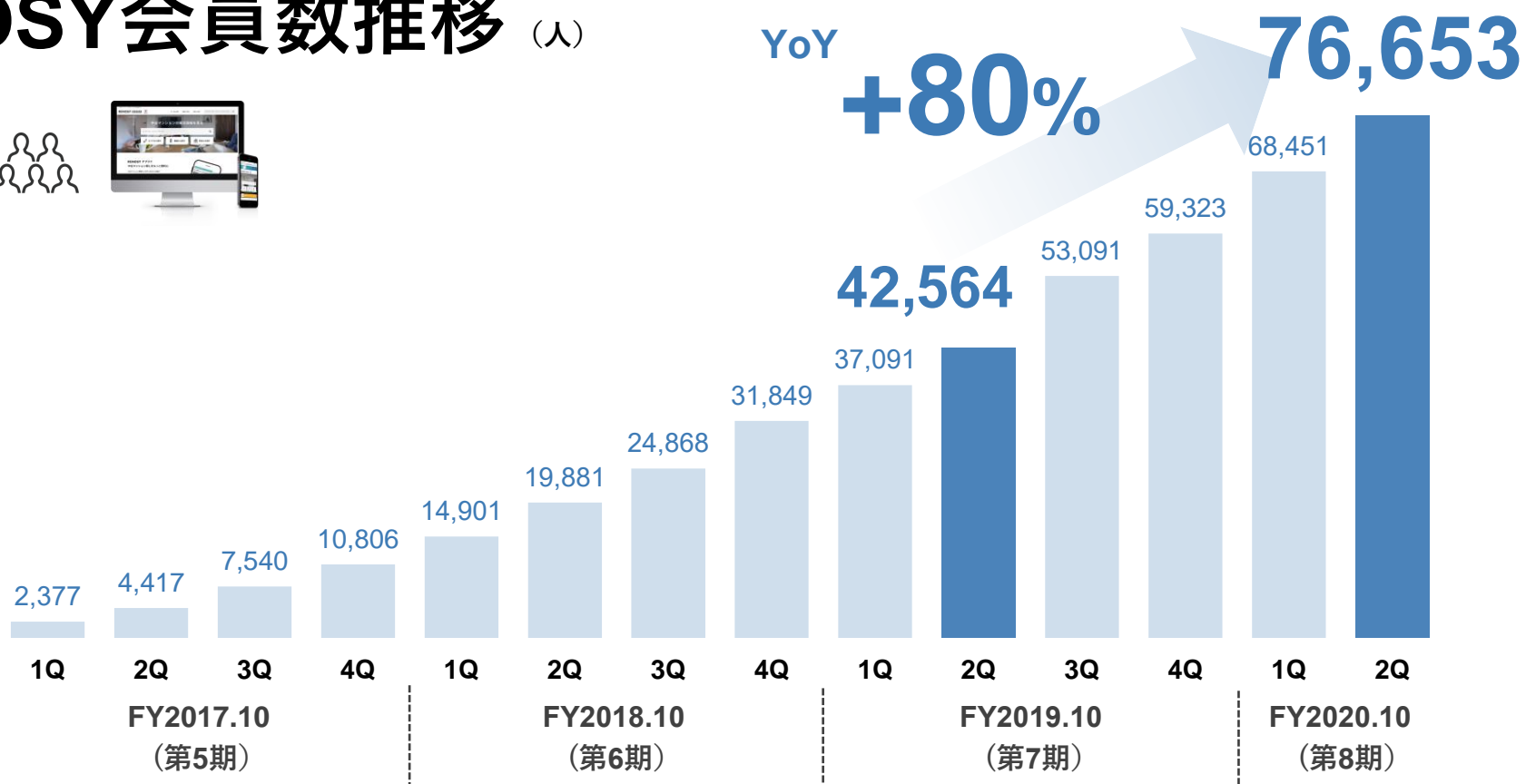
注1) 在庫回転期間=平均在庫金額/(売上原価/365)により算出。商品を仕入れてから販売するまでの期間のことを指す。
 一般的に、この値が小さいほど、在庫がはける回数が多くキャッシュフローが健全であるとされる。

注2) 在庫回転率=売上原価/年間の平均在庫金額(前年度末の在庫金額と当年度末の在庫金額の平均)により算出。年間で在庫がはける回数を示す。

RENOSY会員数推移

RENOSY会員数はYoYで+80%と順調に増加

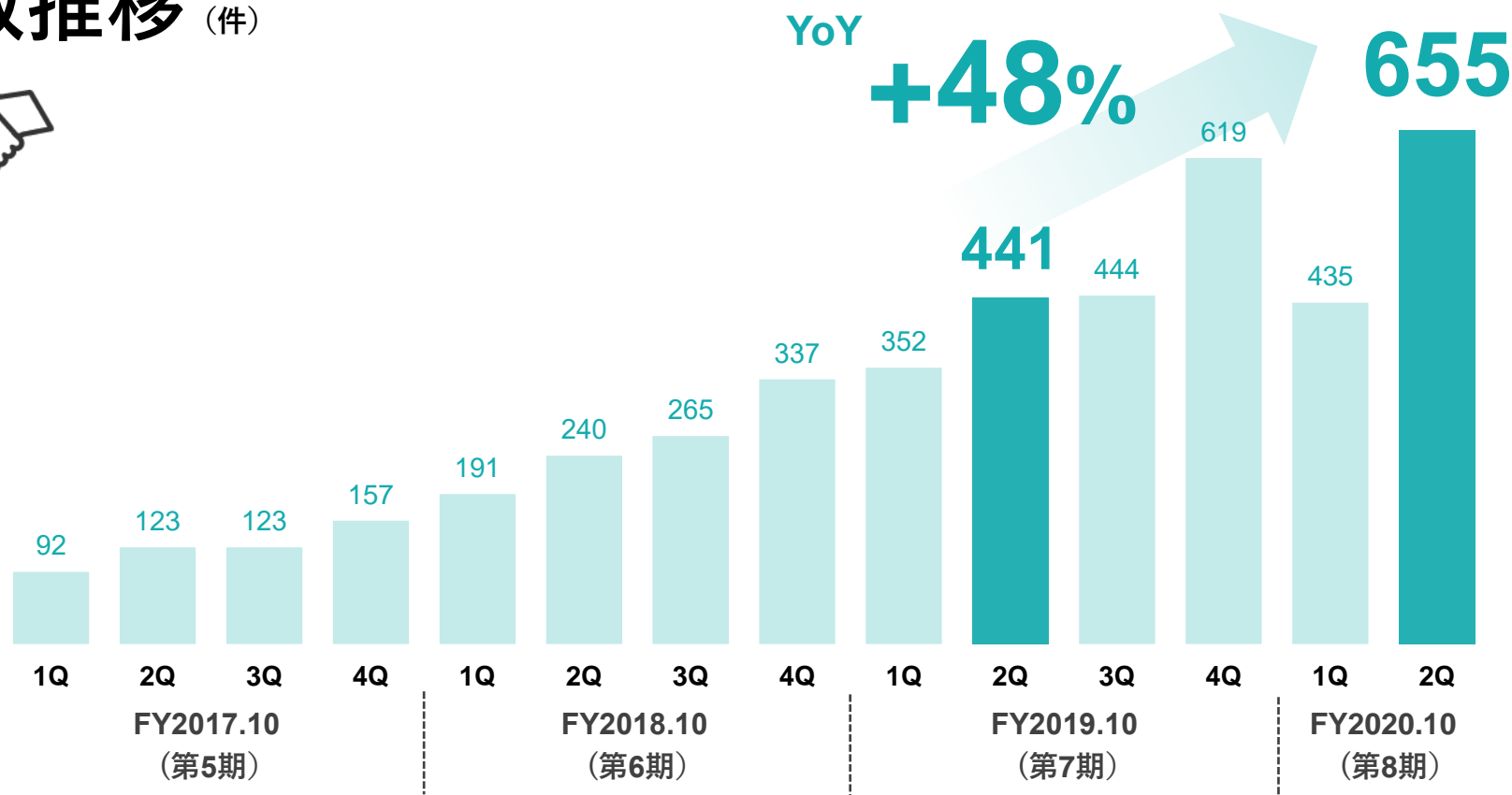
RENOSY会員数推移 (人)



RENOSY iBuyer事業 成約数推移

テクノロジーによる業務効率化により、成約数はYoYで+48%と好調に推移

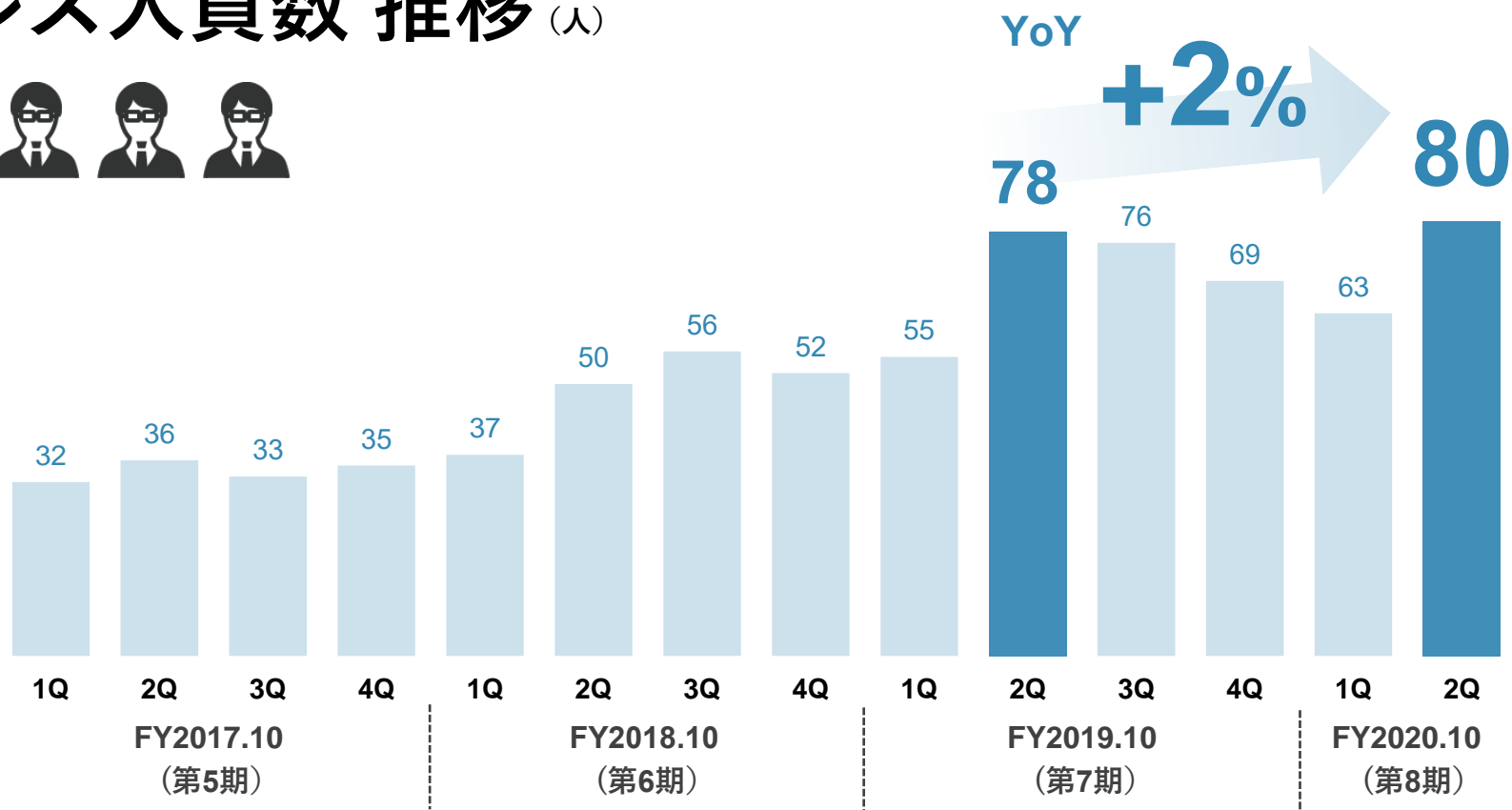
成約数推移 (件)



RENOSY iBuyer事業 セールス人員数推移

好調な採用により、17名の新入社員（新卒含む）がセールス人員として配属、
80名と過去最高のセールス人員数

セールス人員数^{注1} 推移 (人)

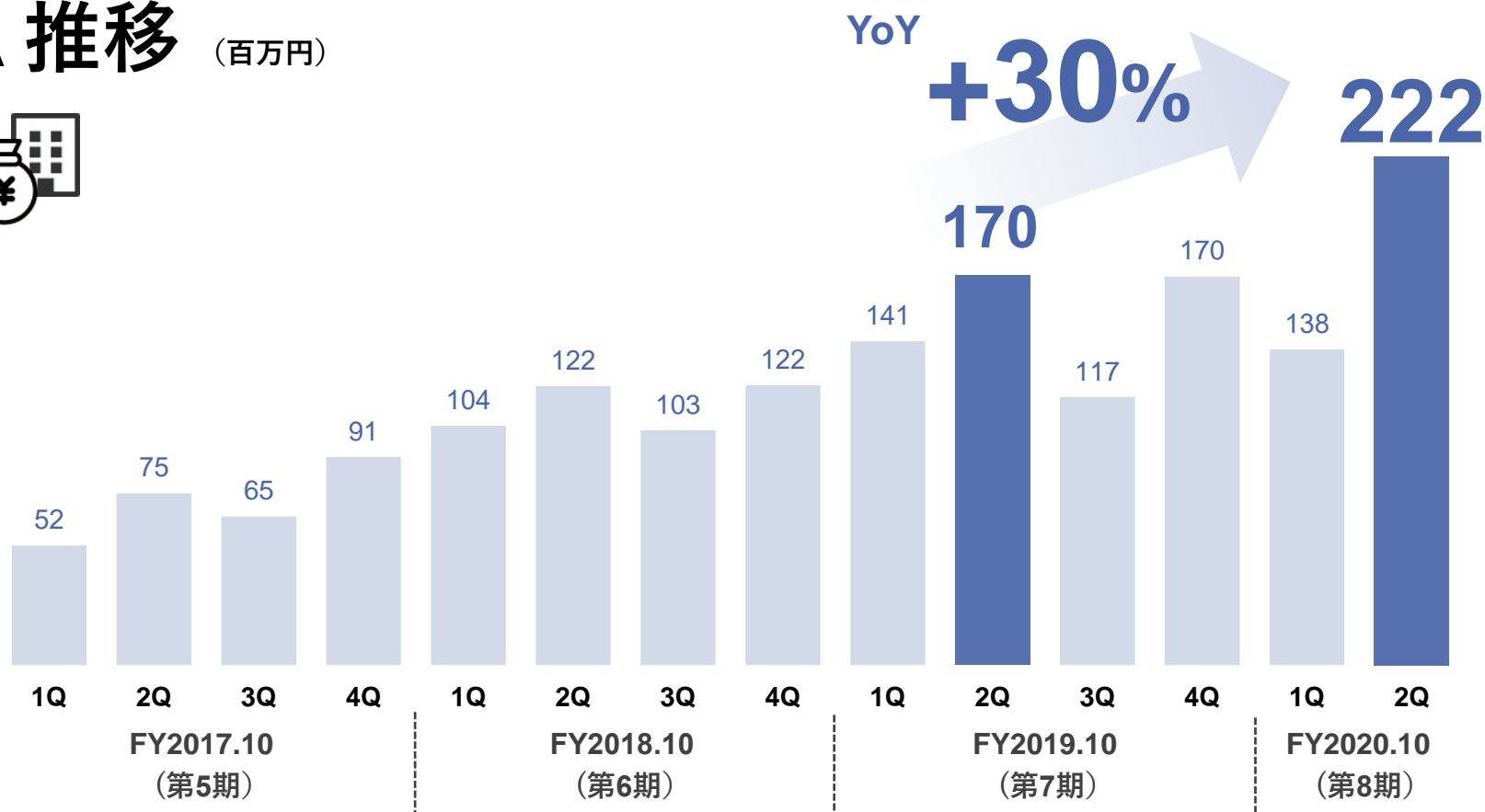


注1) 期末での営業正社員数

RENOSY iBuyer事業 ARPA^{注1} 推移

セールステックなどの活用により営業の業務効率化が図られ、生産性が向上し
ARPAはYoYで30%増加

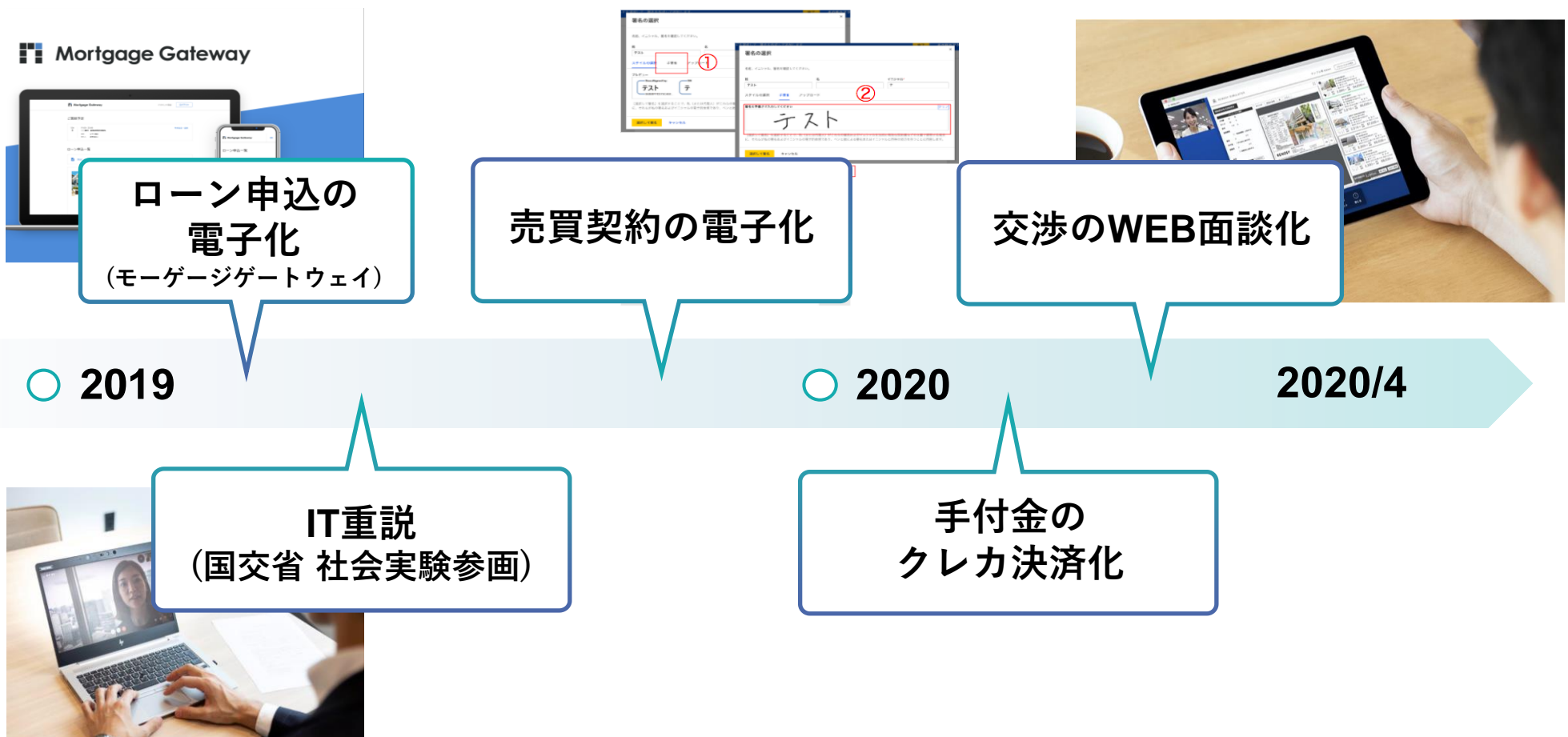
ARPA 推移 (百万円)



注1) ARPA = Average Revenue Per Agent

不動産取引の非対面化

GAでは早くから不動産取引の非対面化に取り組んできた



体制構築以降、オンライン面談数大幅増

コロナによる非対面での面談が求められる中で、体制整備に伴いオンライン化が加速



RENOSY Living 事業 (Rent-Lease-Sell-Buy)



GA TECHNOLOGIES

不動産売買市場（取扱高ベース）

全国中古住宅不動産の推計取扱高^{注1}

約 18兆円

首都圏
中古住宅不動産の
推計取扱高^{注1}

約 8兆円

東京都
中古住宅不動産の
推計取扱高^{注1}

約 4兆円

注1)「不動産業統計集」公益財団法人不動産流通推進センター 2019.3 より自社で推計。

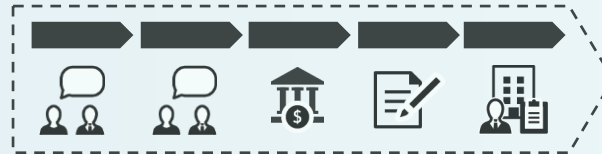
GAテクノロジーズの戦術

1 RENOSY事業強化 iBuyer事業にてOMO体制を確立

リアルの事業体制構築
(徹底したKPI管理、分業体制の確立)



サービスカバレッジ拡大
(顧客目線で必要なサービス提供)



DXによる事業スケール
(顧客価値向上、業務効率化)



MODERN
STANDARD



Living 事業への展開 (RENOSYモデルの再現)

ビジネスモデル

業界最高水準の累計会員数を誇るサービスサイトから
「借りたい」「貸したい」「売りたい」「買いたい」へ送客

月間PV
約 **250** 万

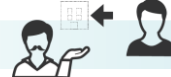
UU
約 **70** 万



MS website
+
RENOSY



借りたい



Rent



貸したい



Lease



売りたい



Sell



買いたい



Buy

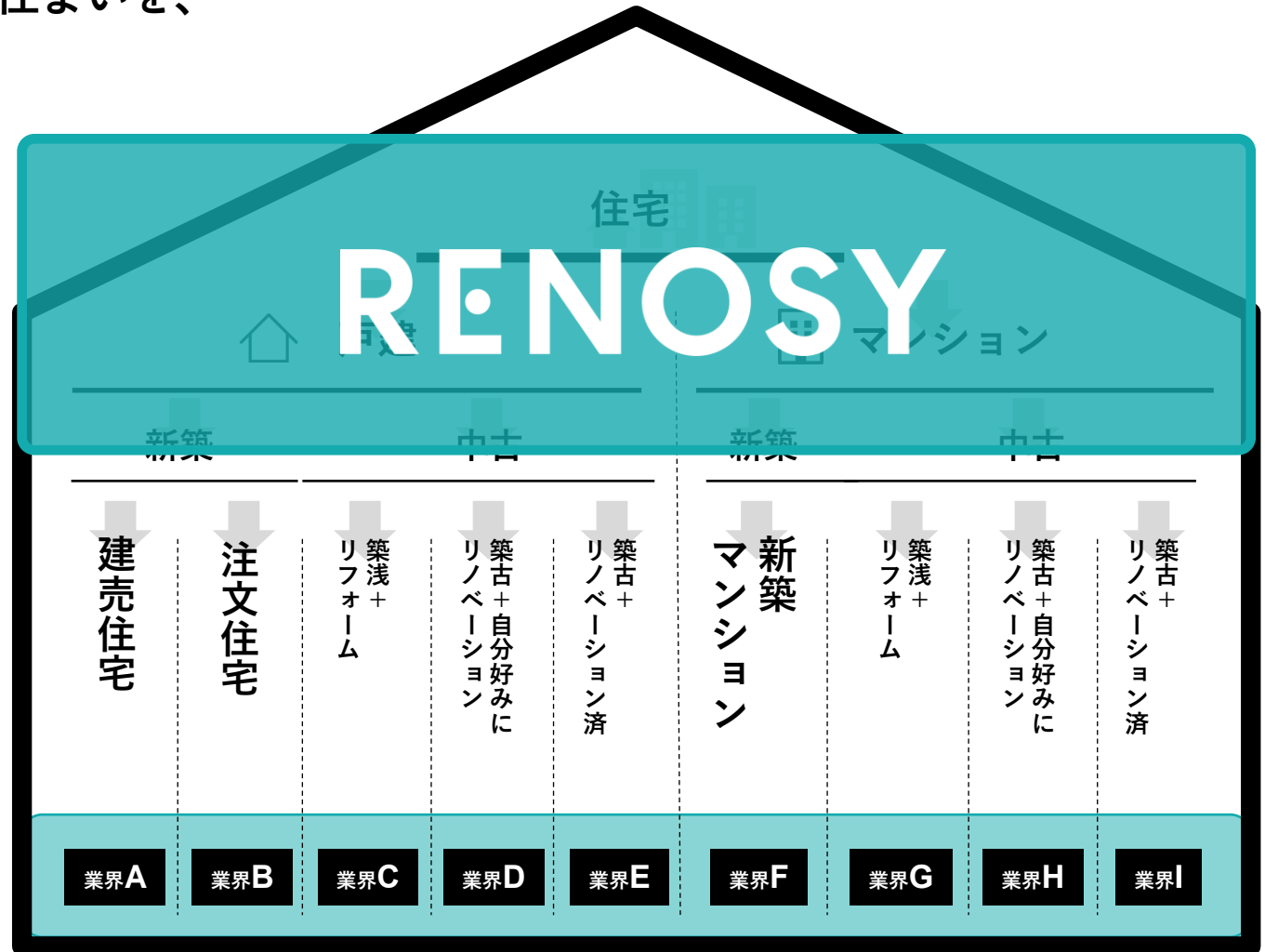


全領域の物件をオープンかつフラットにご提案

お客様に本当にフィットした住まいを、
領域をまたいで
オープンかつフラットに
ご紹介することをお約束



全領域の経験者（プロ）



商品特徴

顧客のメリットを最優先に考える住まいの窓口（住まいに関するコンサルティング）



中間所得層向けの住まいの窓口

東京23区、神奈川、千葉、埼玉

新築マンション、新築戸建、中古マンション、
中古リノベーション

RENOSY Living 事業の重要な指標

以下の指標を拡大することにより、成約数を向上

RENOSY会員数

セールス人員数

ARPA

(セールス一人当たりの売上高)



メディア強化による
集客力拡大



リアルの営業体制強化
による成約数拡大



自社開発システム
による業務効率化

強み

業界最高水準の累計会員数を誇るMSのサービスサイトがRENOSYに加わり、より強力なシナジーを創出

RENOSY 合計 月間PV 約 **250** 万 UU 約 **70** 万

RENOSY Living 事業

RENOSY iBuyer 事業

RENOSY 住まいの窓口
RENOSY スマート売却



MODERN
STANDARD



RENOSY ASSET



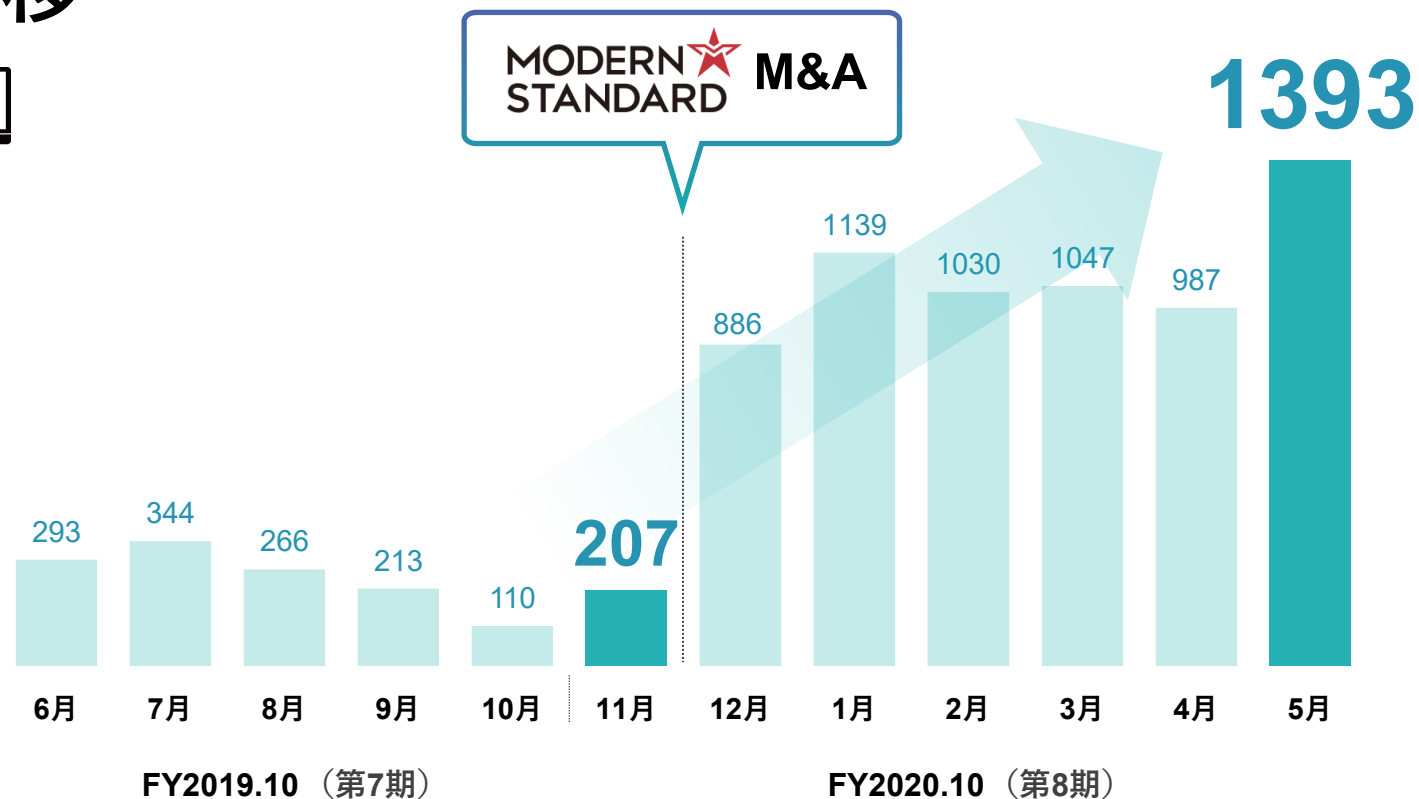
月間PV 約 **200** 万 UU 約 **30** 万

月間PV 約 **50** 万 UU 約 **40** 万

RENOSY Living事業 反響数推移

モダンスタンダードとのシナジーおよびマーケティング強化の施策により
期初時点の反響数は5月末で約7倍へ伸長、3Q以降の成約数向上への道筋に

反響数推移 (件)



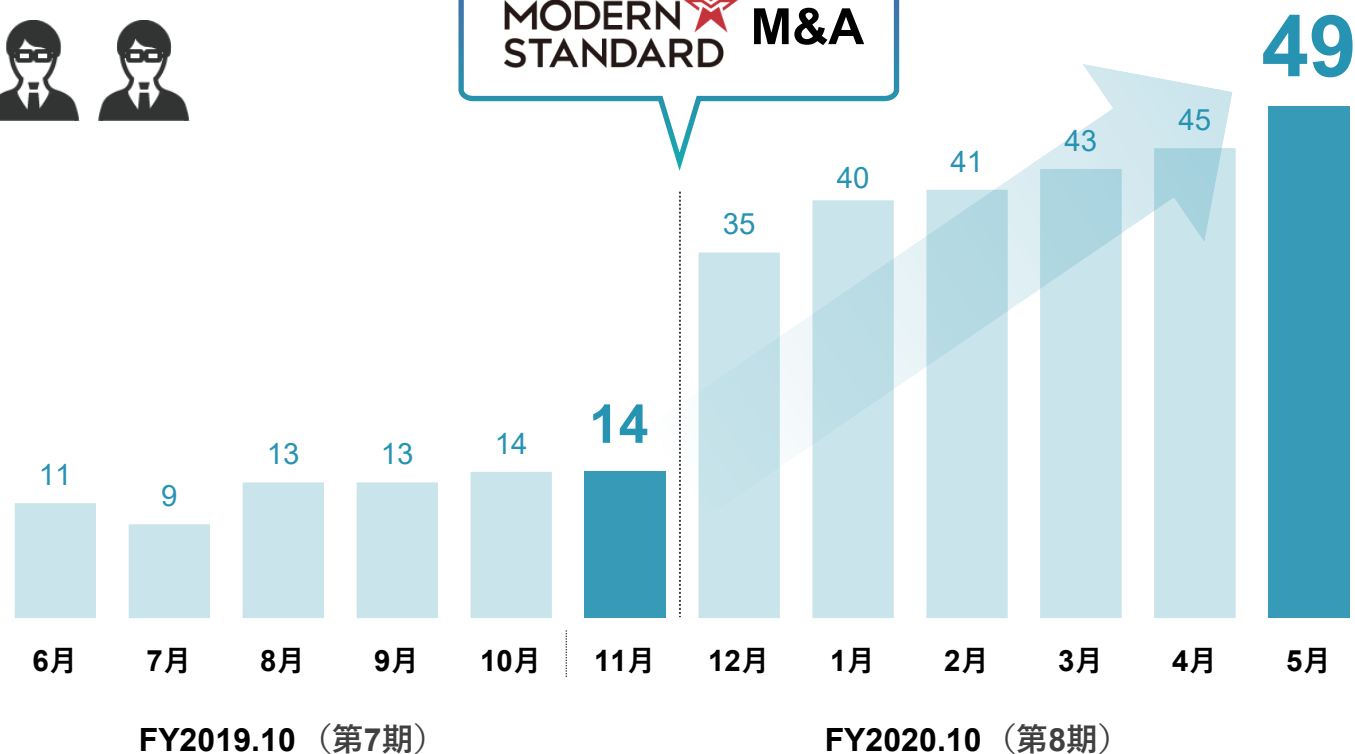
RENOSY Living事業 セールス人員数推移

モダンスタンダードのM&A及び採用強化により、
セールス人員数は4月末には45名に増加、5月末には期初比3.5倍と大幅増強

セールス人員数推移 (人)



MODERN STANDARD M&A



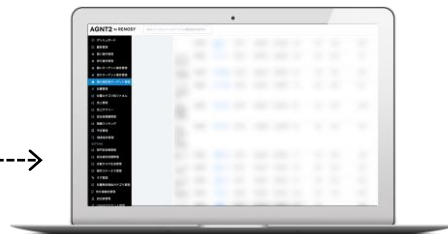
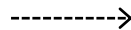
ARPA向上に向けたテクノロジー群

業務の中で見えてくる様々な課題をテクノロジーで解決しながら
ARPAの向上を目指している



お客様視点での
物件提案

LIFE DESIGNER by RENOSY



お客様の情報を
一元管理

AGNT2 by RENOSY



QRですぐ
物件確認できる

2秒でブック!



LINEやメールで通知

売主様が直接
物件への反応を
確認できる

透明化システム

ITANDI 事業

事業構成

収益フェーズ

① 管理会社向け SaaS



物確電話自動応答 24時間内見予約 Web入居申込 電子契約 更新退去Web管理

② 仲介会社向け SaaS

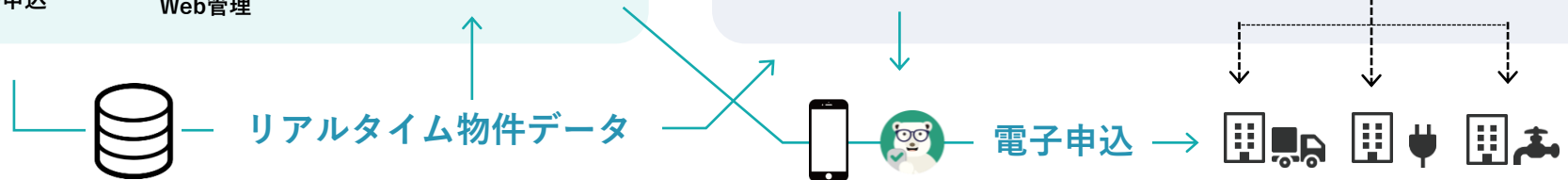


投資フェーズ

③ セルフ内見型 賃貸サイト



④ 付帯サービス 事業



ターゲット



マネタイズ

アカウント契約

アカウント契約

仲介成約

送客

主要KPI

MRR ^{注1}
月間経常収益

MRR

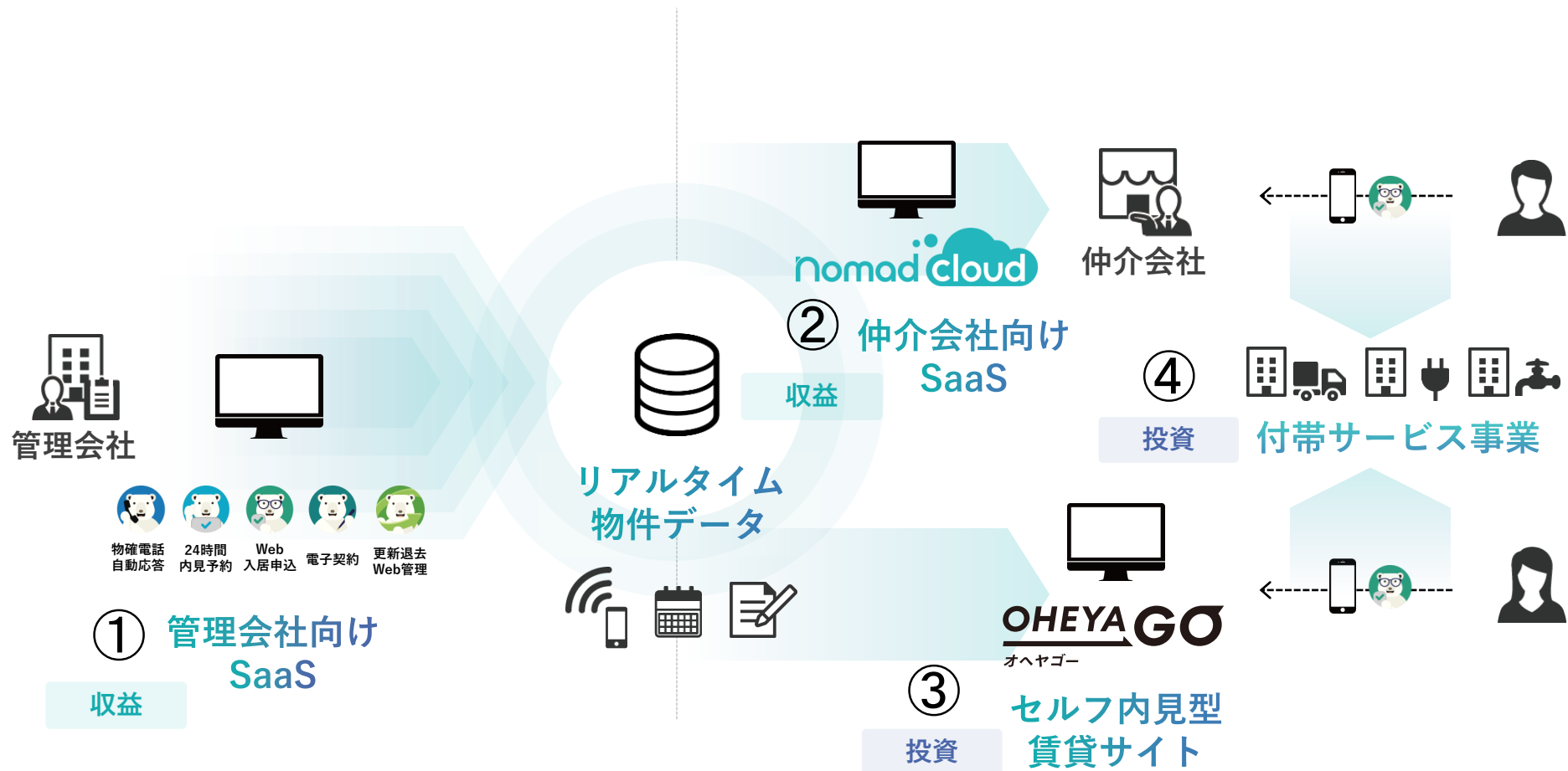
掲載物件数

電子申込利用数

注1) MRR = Monthly Recurring Revenue。初期費用や従量課金額などの売上を除いた、毎月決まって発生する売上を表す。

事業の特徴

管理会社向けSaaSシステムを通して集まるリアルタイム物件データを
toB / toC サービスへ活用



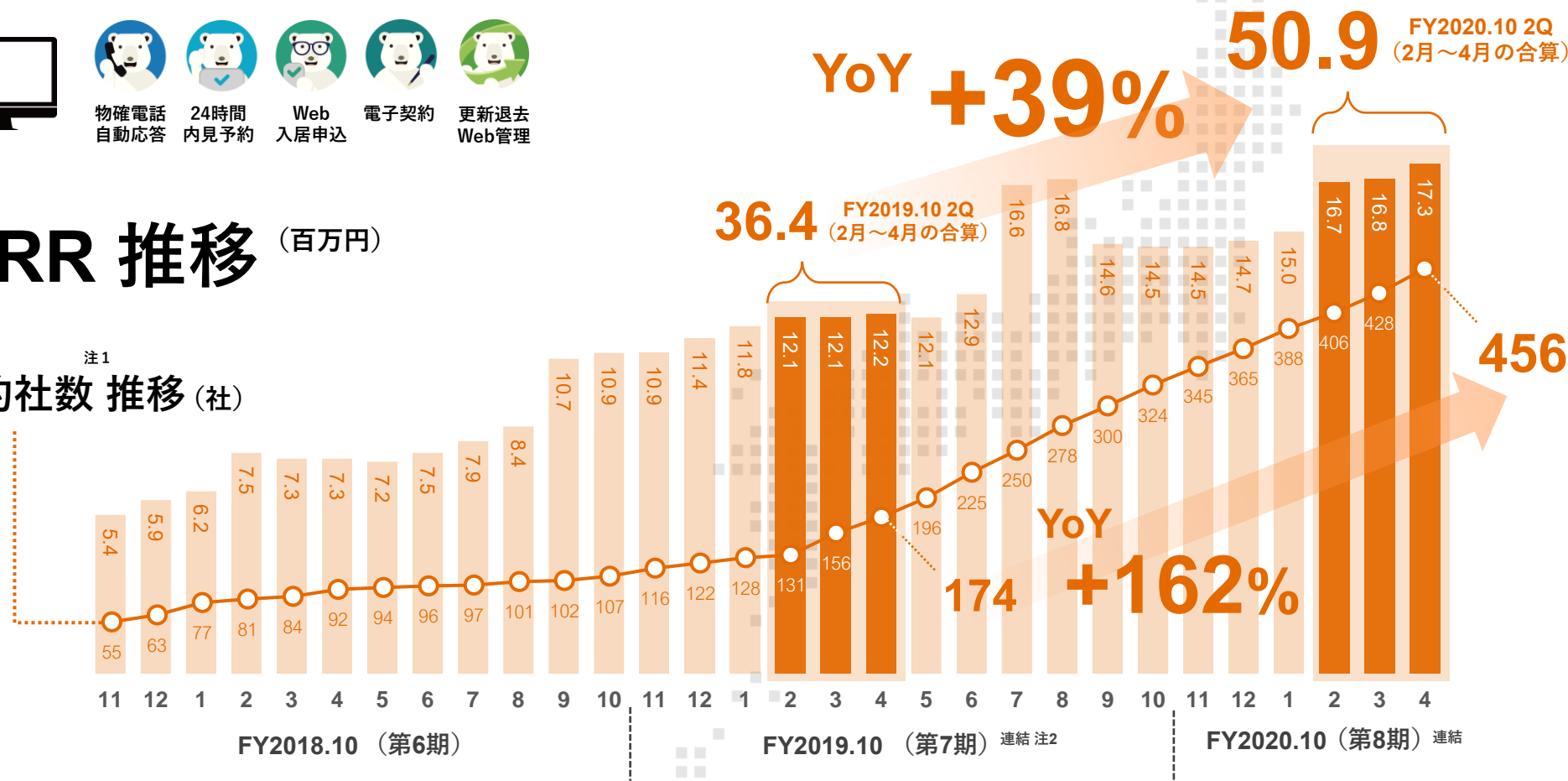
管理会社向けSaaS KPI推移

管理会社向けSaaSの契約社数増加に伴い、MRR（月間経常収益）もYoY比で4割増加



MRR 推移 (百万円)

注1 契約社数 推移 (社)



注1) システムを契約している管理会社数 注2) FY2019.10 (第7期) 以降、連結財務諸表にて作成。

仲介会社向けSaaS KPI推移

仲介会社向けSaaSの契約社数増加に伴い、MRR（月間経常収益）も堅調に推移



MRR 推移 (百万円)

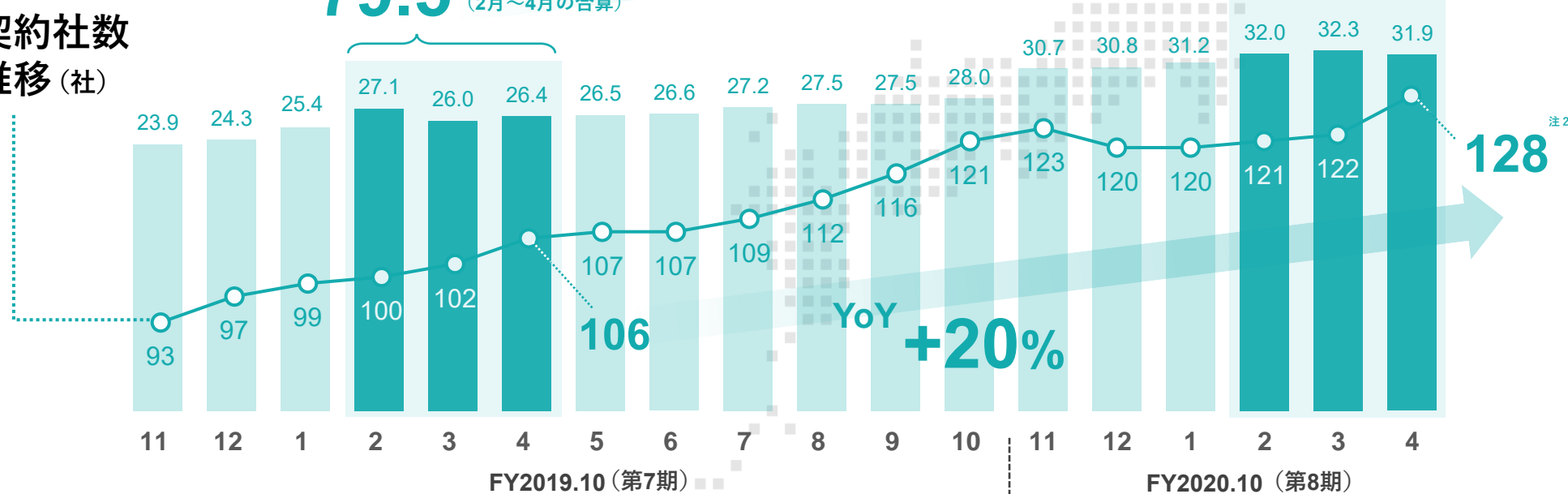
YoY +21%

96.3 FY2020.10 2Q (2月~4月の合算)

79.5 FY2019.10 2Q (2月~4月の合算)

契約社数 推移 (社)

注1



注2

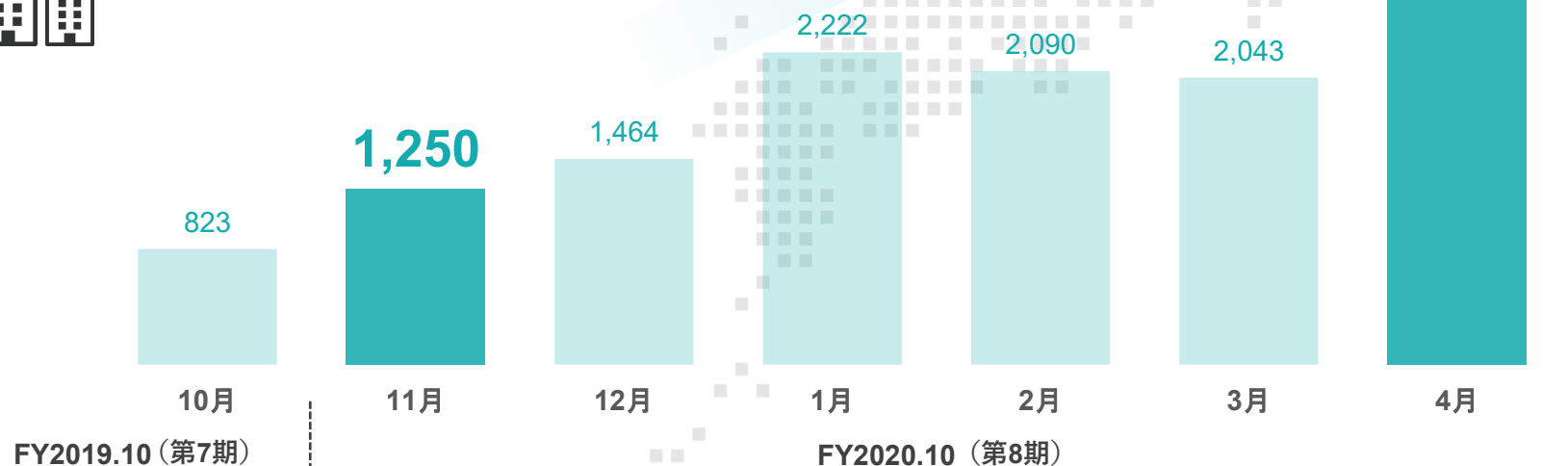
注1) システムを契約している仲介会社数 注2) 社内計測方法の見直しにより、1Q末開示時点より契約社数が約1割増加

OHEYAGO KPI推移

管理会社向けSaaSの利用拠点増加に伴い、
OHEYAGOの成約に繋がる掲載物件数も順調に拡大



掲載物件数 推移 (件)



申込受付くんKPI推移

4月はコロナ禍の影響があったものの、引越繁忙期の2月、3月の電子申込数増によりQoQ比較で50%増と大幅増加



業界導入社数
No.1 認定 注1

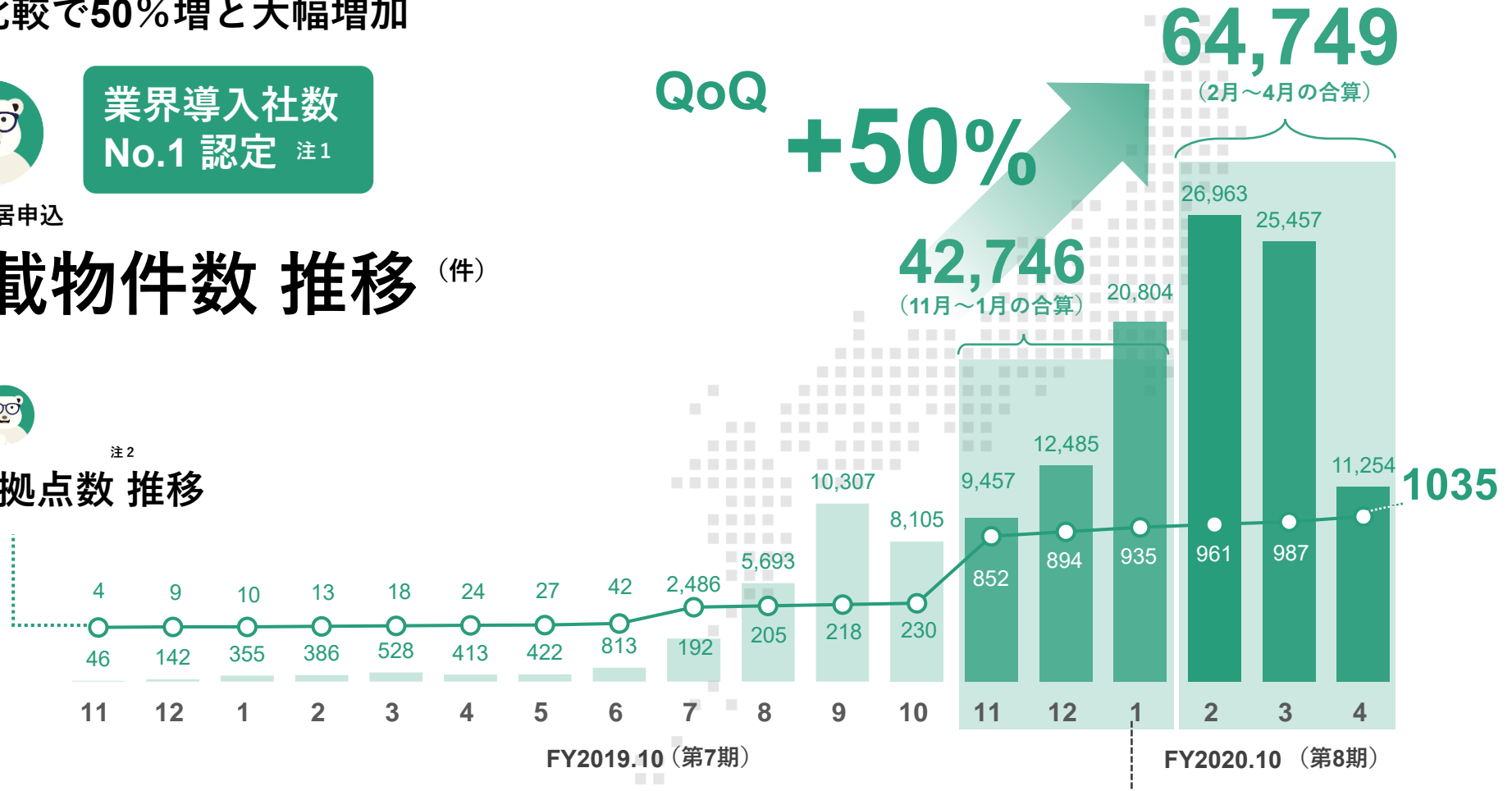
Web入居申込

掲載物件数 推移 (件)



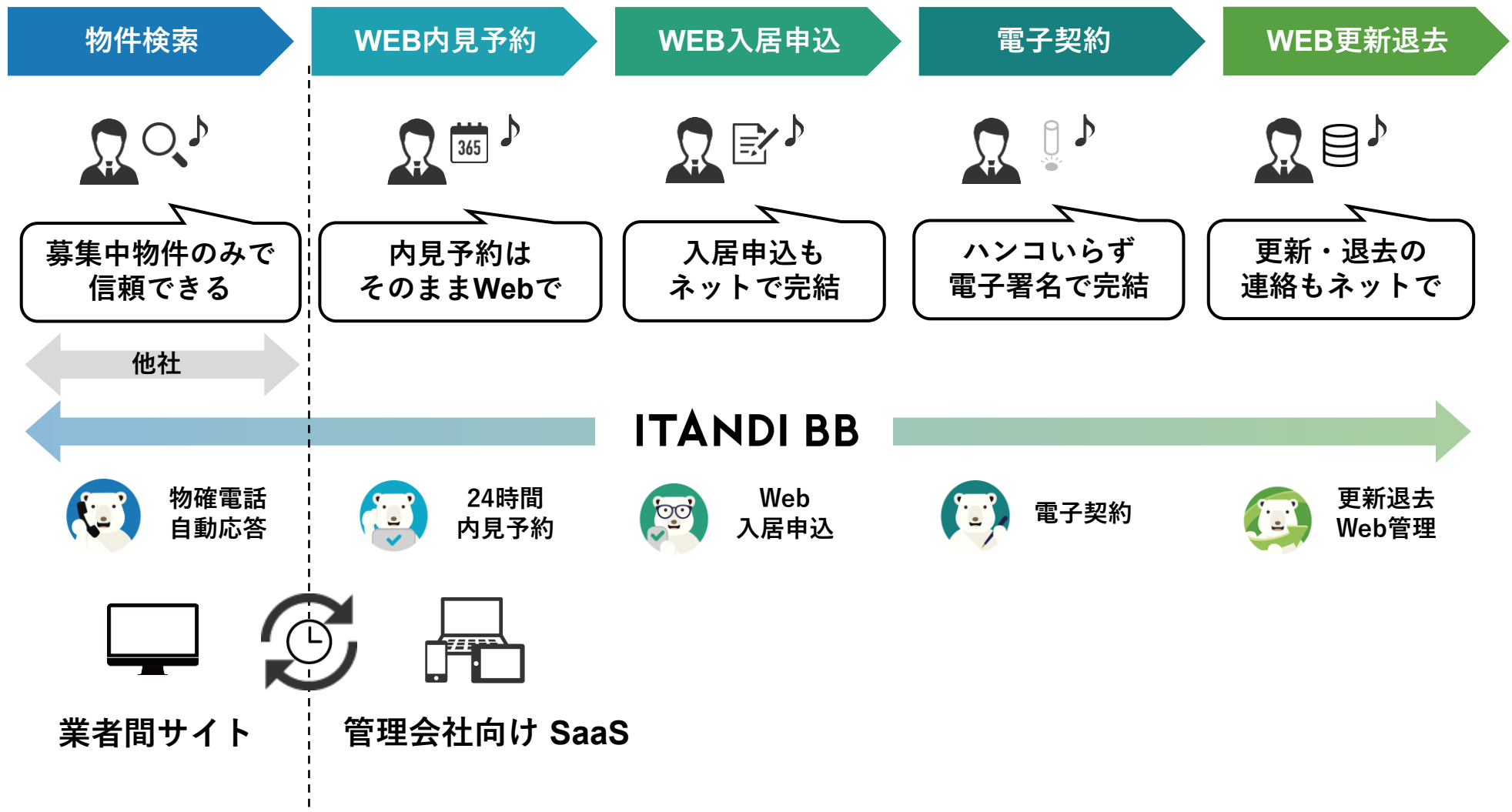
注2

導入拠点数 推移



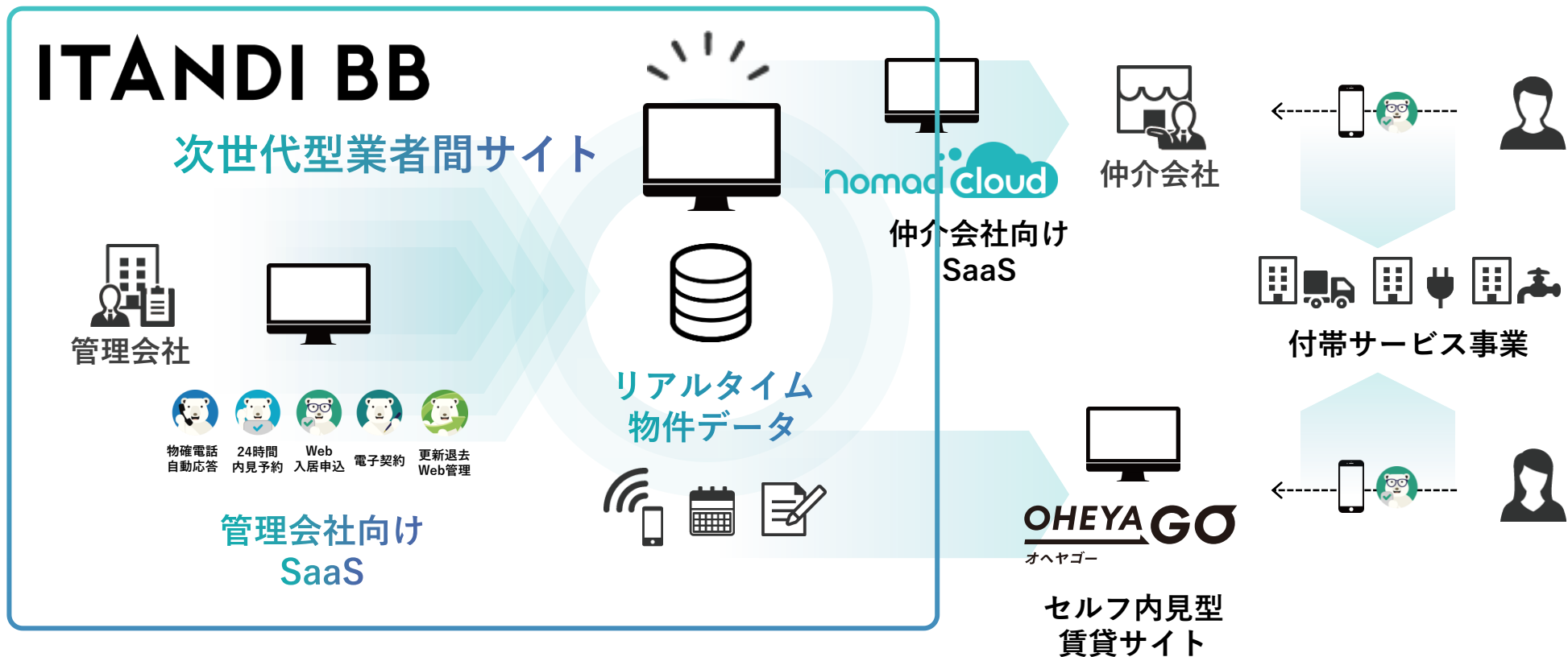
注1) 東京商工リサーチの調査 注2) 申込受付くんを導入利用している拠点の数。1 契約社に対し、複数導入拠点が存在する。

不動産賃貸業務をワンストップ&オンライン化



不動産賃貸業務をワンストップ&オンライン化

次世代型業者間サイトと物件確認の必要がないリアルタイムデータベースで
不動産賃貸業務をワンストップ&オンライン化



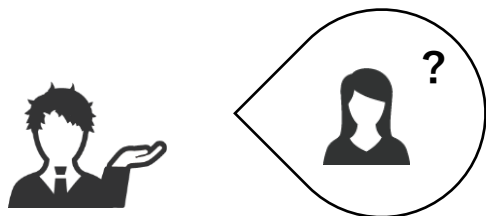
GAのM&A戦略について

GAが考える不動産業界の3つの課題

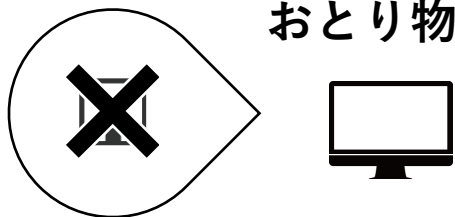
以前より、不動産業界全体にDXが必要と考えている

情報の非対称性

顧客囲い込み



おとり物件



テクノロジー化の遅れ

FAX中心の情報連携



紙の契約書



低い中古不動産流通量

国内既存住宅流通シェアは欧米諸国に比べ1/6~1/5



業界全体のDXのために

不動産業界のAmazonを目指す

自社で集客・仕入れ・販売・アフターフォロー



自社設備の業界提供
RENOSY X

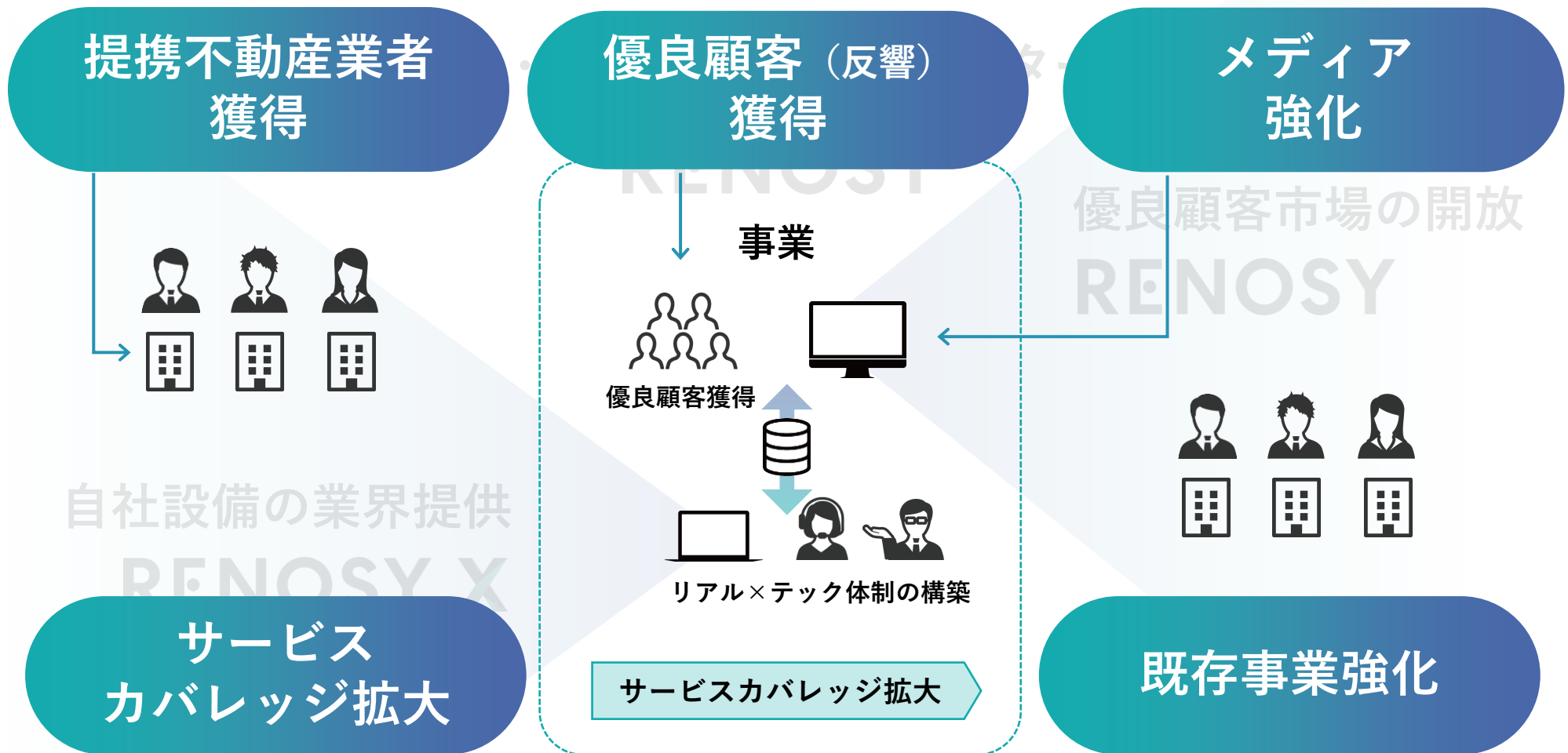


優良顧客市場の開放
RENOSY



M&A戦略

toC / toB全体のDXのため、以下の点に基づき事業強化を行なっている



M&A戦略

toC / toB全体のDXのため、以下の点に基づき事業強化を行なっている

	ITANDI	LEGAL ASSURENT COMPANY	Yes Renovation Package Renovation For Rent	MODERN STANDARD
提携不動産業者獲得	○			
優良顧客（反響）獲得				○
メディア強化	○			○
サービスカバレッジ拡大		○		
既存事業強化			○	

**2020年6月11日 株式会社GAテクノロジーズは
中華圏最大級^{注1}の日本不動産販売プラットフォーム
「神居秒算」を取得することについて
NeoXグループと基本合意**



注1) NeoX Japan調べ：インバウンド不動産投資ポータルサイトの物件掲載数（2020年4月末時点）

中華圏最大級の日本不動産販売プラットフォーム



掲載物件数

約

12,000

件



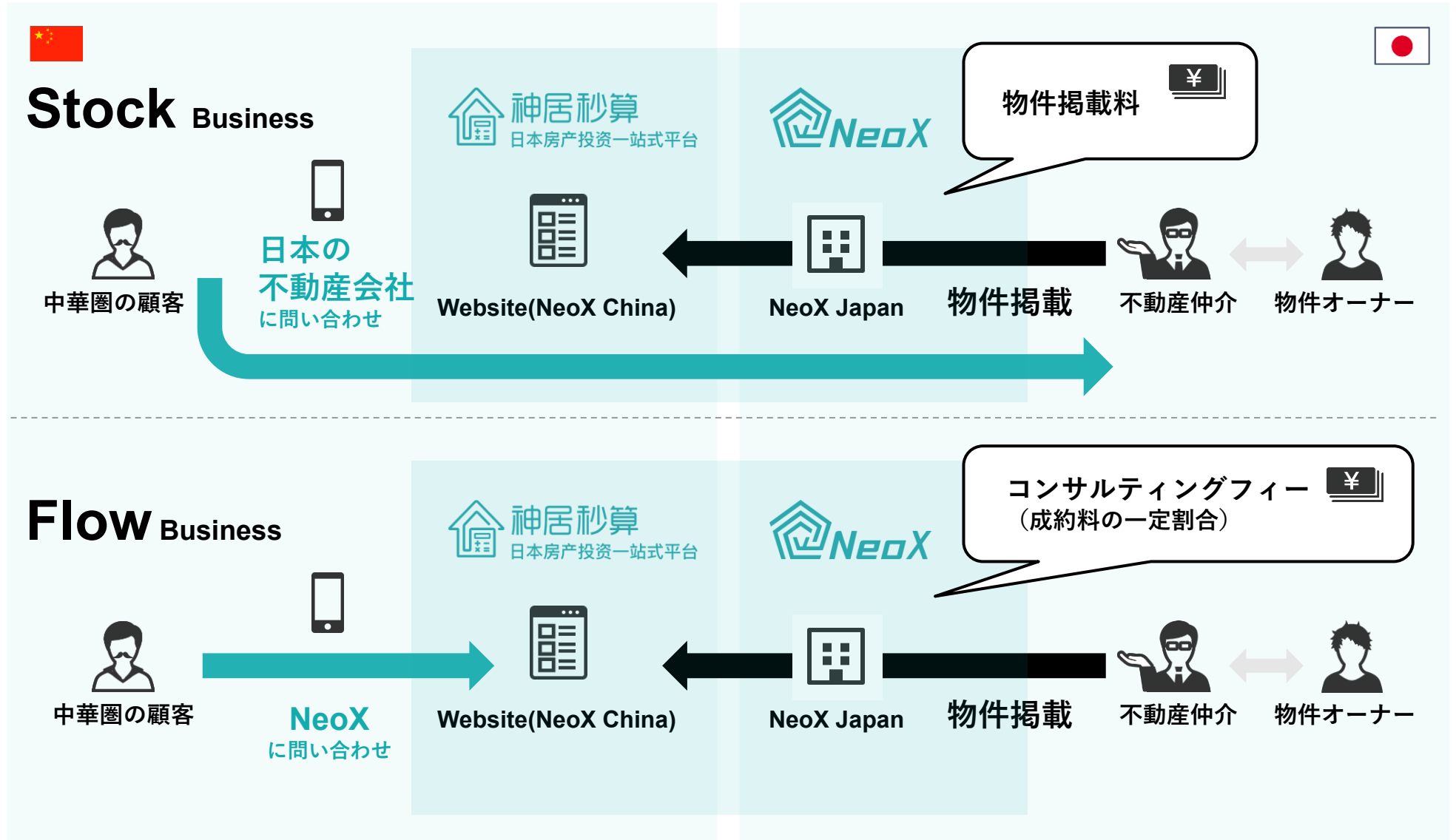
月間問合せ数

約

1,000

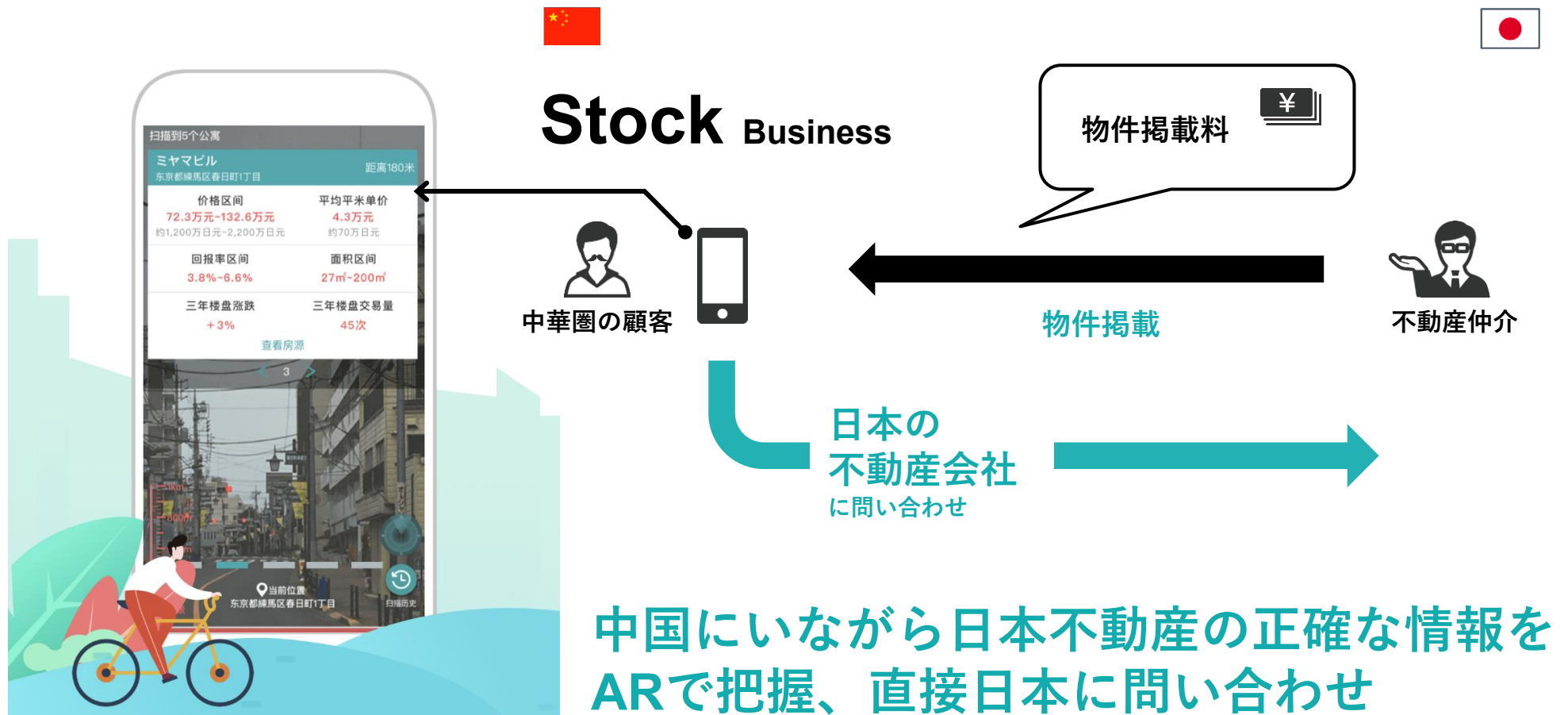
件/月

神居秒算事業のビジネスモデル



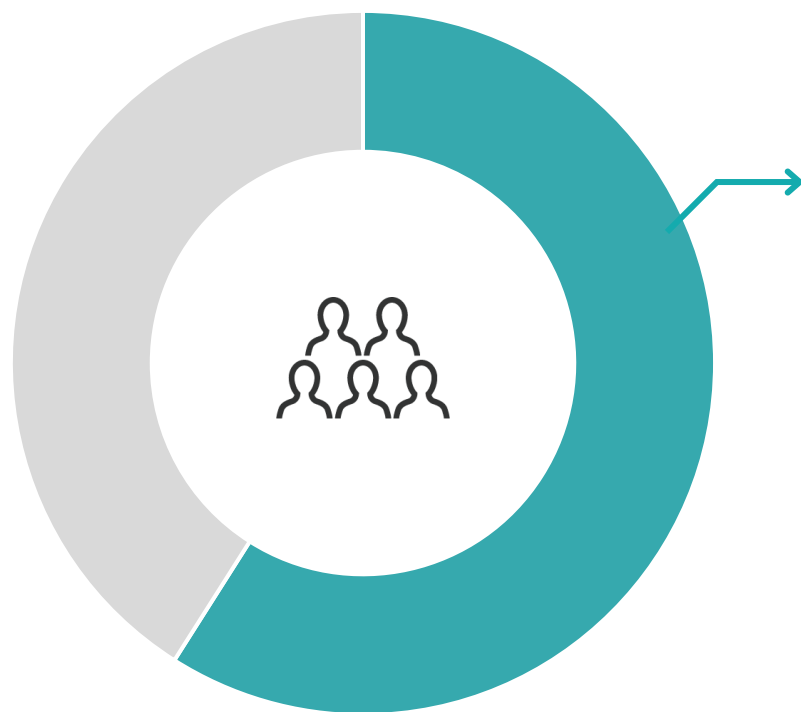
神居秒算事業の強み

自社開発のARアプリでビジネスモデルがさらに加速



神居秒算事業の顧客属性

神居秒算顧客の59%が資産5,000万円以上

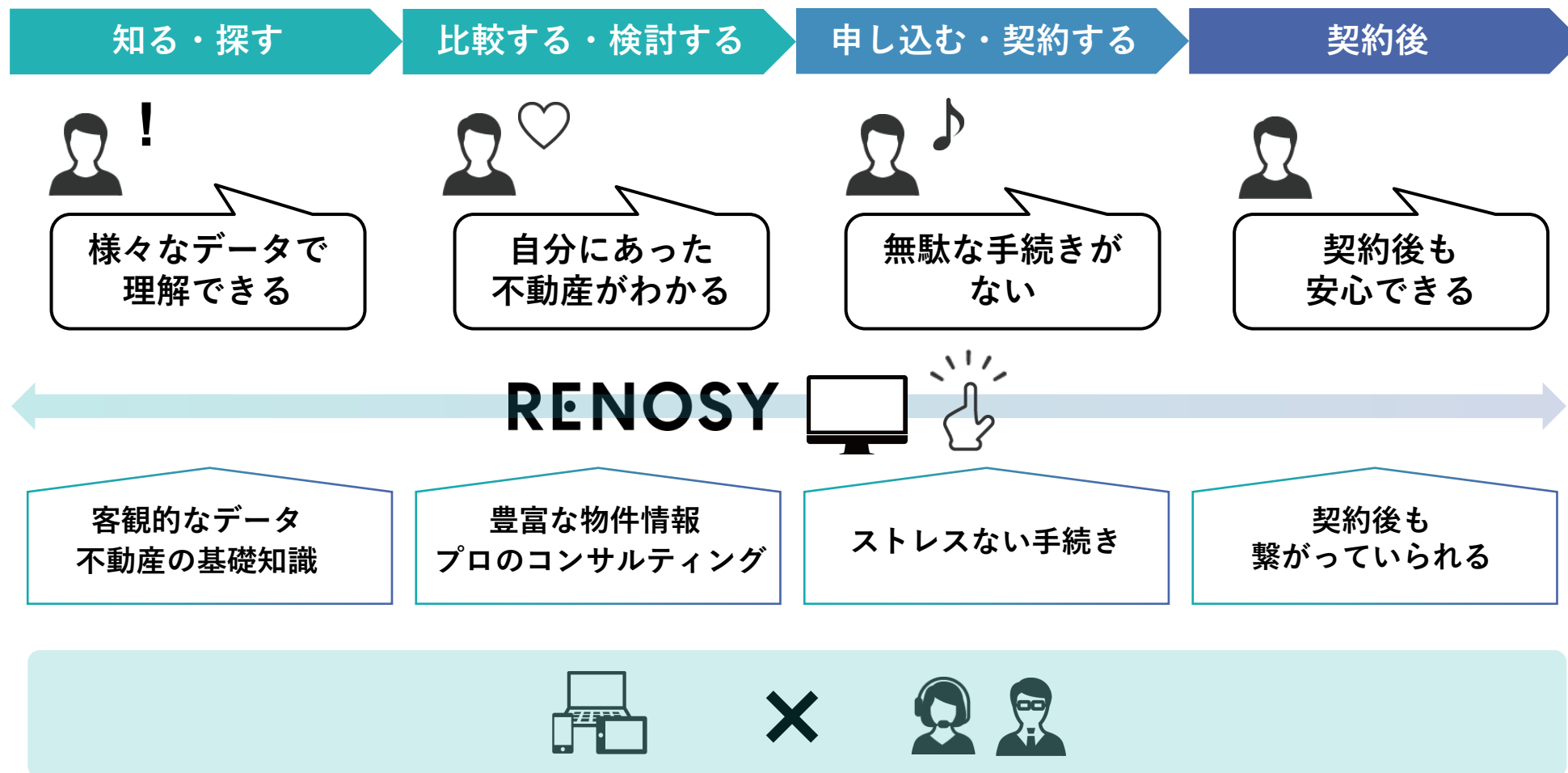


資産
5,000 万円以上

59%

“不動産取引をワンクリックで”

我々は不動産（モノ）を売っているのではなく、不動産購入の「体験」を売っている



Appendix

SDGs / ESG に積極的に取り組む

川崎フロンターレの
オフィシャルスポンサー



日本ブラインドサッカー協会
パートナー



スポーツ選手のキャリア支援



女性の社会進出を積極的に支援（女性社員比率）



31.5%

不動産業平均 ^{注1} 7.2%

注1) 「賃金構造基本統計調査」厚生労働省 令和元年

当社の開発体制を推進する役員



執行役員 CPO
野口 真平

早稲田大学卒、
大学主催のビジネスコンテストで優勝し、
在学中に企業を経験
卒業後に2度目の起業としてWebメディアを
運営する会社を設立、後に上場会社へ売却

2014年 イタンジ株式会社入社、執行役員
2018年 同社代表取締役就任
当社執行役員就任
2019年 執行役員CPO就任



執行役員 CDO
遠藤 晃

学習院大学卒、
大手証券システム開発会社入社
同窓会代行業をメインとしたベンチャー企業の
最高技術責任者
ガンホー・オンライン・エンターテイメント社
入社、システム開発に従事

2018年 当社入社
新卒エンジニア育成チーム責任者
2020年 執行役員就任



執行役員 CAIO
稲本 浩久

大阪大学大学院修了後、株式会社リコー入社
画像処理・認識技術の研究開発
不動産向けVRサービス「theta360.biz」
立ち上げを担当

2017年 当社入社
AI・RPAを活用した
不動産業務の自動化システムを開発
2019年 執行役員CAIO就任
AI Strategy Center室長就任



執行役員 CMO
田吹 洋

明治大学卒、イマジニア社入社
企画やマーケティングに従事
カクコム社で事業開発やマネジメント
ITスタートアップ企業 マーケティング責任者

2018年 当社入社
プロダクト企画・
マーケティング部門責任者
2020年 執行役員就任

社外取締役が半数を占めるガバナンス体制

取締役 **8** 名

業務執行取締役



樋口 龍



清水 雅史



樋口 大



藤原 義久

社外取締役 **4** 名



久多良木 健



中島 和人



松葉 知久

監査等委員 **3** 名



猿渡 裕子

当社のローン審査支援および契約時の コンプライアンス対策

1. 販売部門とファイナンス部門を分離した業務フロー
2. 販売部門を通さないローン審査
3. 人的操作が介在しないローン審査業務
4. 社内弁護士、法務部、営業企画による研修の実施
(修了者にはライセンスを付与)
5. 宅建免許所持を条件にした専門チームによる物件契約
6. 契約時の第三者機関による説明実施や理解度の確認

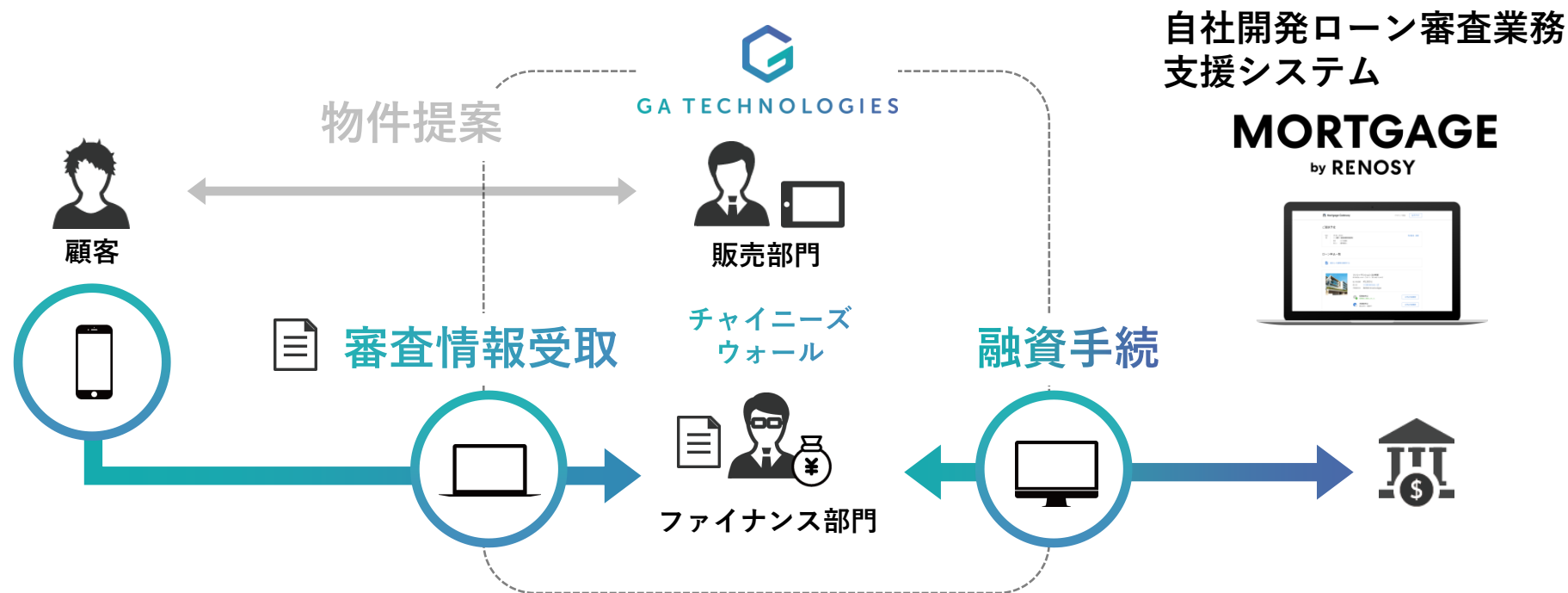
ローン審査支援時の対応

Point 1

販売部門と独立した
ファイナンス部門

Point 2

人的操作が介在しない
自社開発システムでの情報連携



ガバナンス強化およびコンプライアンス対策

- 社内弁護士
 - 法務部
 - 営業企画
- による研修を

2週間に1回実施

 修了者には
RENOSY License



GA Compliance
Book



宅建免許保有の
専門チームによる
物件契約

宅地建物取引士
不動産取引に関する国家資格



第三者機関による
契約時の説明実施、
理解度の確認



業務委託
第三者機関

充分な説明の実施、
内容の理解度など
の確認



会社概要

設立	2013年3月12日
本社所在地	東京都港区六本木3丁目2番1号 住友不動産六本木グランドタワー40階
資本金	11億6,869万8,450円（2020年4月末日時点）
従業員数 ^{注1}	495名（2020年4月末日時点）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・不動産テック総合ブランド「RENOSY」の運営・「BEST BASHO（ベスト場所）」や「BLUEPRINT by RENOSY」などのAIやRPAを活用した研究開発・中古マンションのリノベーション設計加工
役員	代表取締役社長CEO：樋口龍 専務取締役執行役員：清水雅史 取締役執行役員：樋口大、藤原義久 社外取締役：久野良木健 監査等委員である取締役：中島和人（常勤）、松葉知久（社外）、猿渡裕子（社外）

注1) 連結／役員・契約社員・アルバイト・インターンを除く

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、
いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、
実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動と
いった国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、
当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。